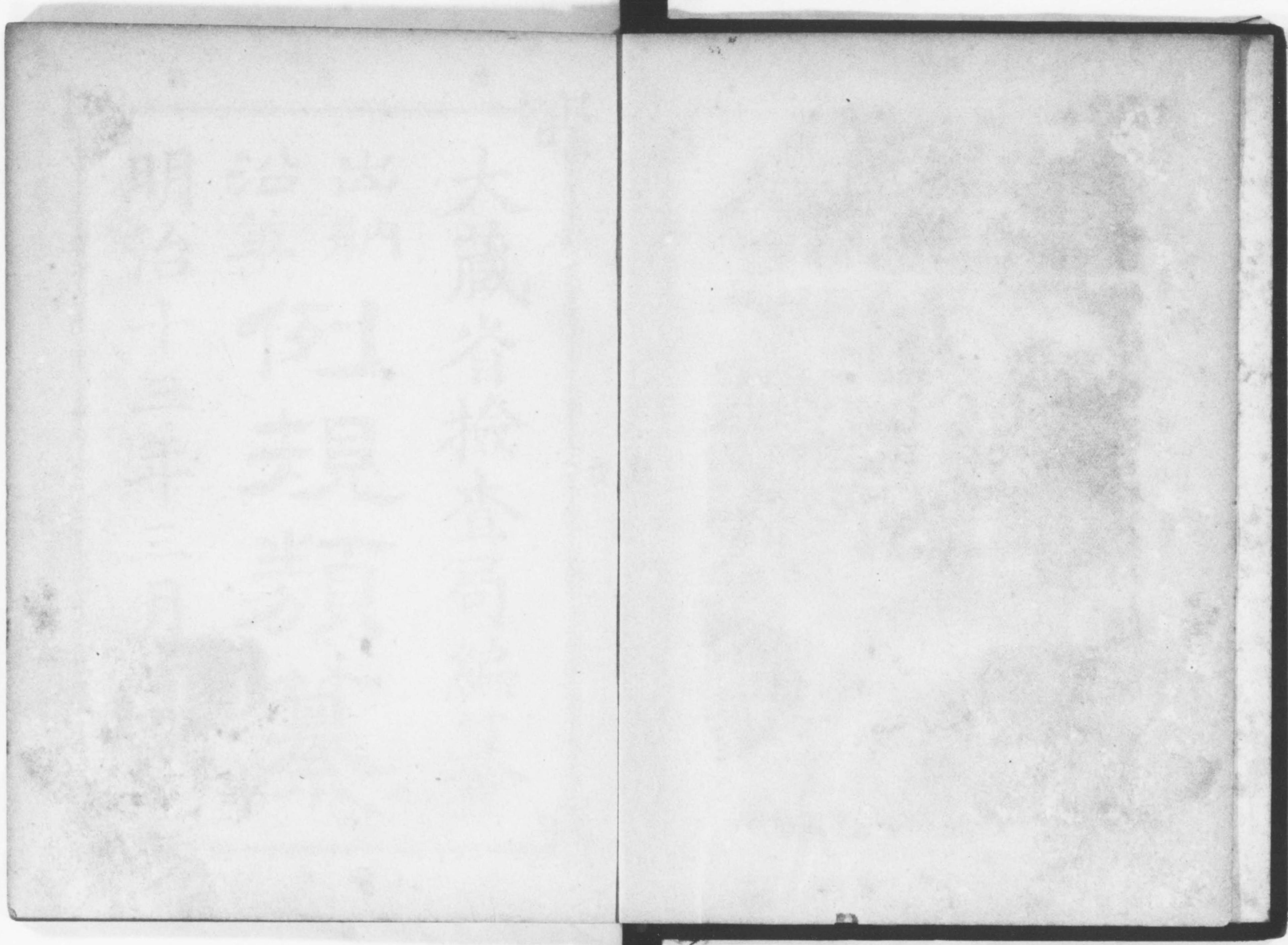


司 法 省 文 庫

和 書 門	政 治 及 法 律 部	九 三 七 號	函 架	共 六 冊
-------	-------------	---------	-----	-------

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34

F300
0 2
1 f



大藏省検査局編纂

出納
沿革 例規類纂

明治十三年三月



司法省文庫
第9073號

大藏省検査局編纂
出納
沿革
例規類纂
明治十三年三月

分類總目

- 官定額
- 府縣定額
- 費目
- 簿記
- 俸給
- 年勞賜
- 旅費
- 酒饌料
- 辨當料
- 公館定額
- 海外派遣
- 留學生
- 僑外國人
- 貨幣
- 紙幣
- 證券
- 社寺附祭典
- 堤防營繕
- 救恤附手當
- 貸與
- 褒賞
- 囚人附脫籍
- 雜則

民國十三年三月

出版

大藏省總查局編纂

○書式雜形ノ類ハ凡例第十一項ニ據リ從前之ヲ掲ケス
ト雖^レ正實際參照ノ便ヲ欠クヲ以テ今後之ヲ插入ス

沿革納例規類纂目錄 明治十一年

○官省定額之部

十年十二月九州臨時 裁判事務取扱局稟裁	本省一年令一達月	本省一年令一達月	本省一年令一達月	本省一年令一達月	本省一年令一達月	本省一年令一達月	本省一年令一達月
九月九州臨時裁判事務取扱局經費	故從六位某年賜經費	參議某賞賜金額	皇族一賄料以內靜寛院不宮及ノ分事	鹿兒島縣元雇外國人解備	該給料并旅費ノ金額	石炭酸製増加ノ事	興業費
(卷中略之)	(全)	(全)	(全)	(全)	(全)	(全)	(全)
上	上	上	上	上	上	上	上

目官

宮十 內一 省年 稟二 裁月	案十 審一 查年 局二 へ月 令刑 達法 草	宮十 內一 省年 稟二 裁月	外十 務一 省年 稟二 裁月	陸十 軍一 省年 稟二 裁月	內十 務一 省年 稟二 裁月	開十 拓一 使年 稟二 裁月	內十 務一 省年 稟一 裁月
増拂建 加濟宮 ノ御 事分降 帝誕 室費 十年 十年 年度 御二 月迄 仕	刑六 法月 草迄 案ノ 審查 局十 被一 定年 ノ一 事月	事金堺 宮縣 內下 省法 十隆 年寺 度寶 經物 費獻 ノ納 増二 加付 ノ賜	十長鹿 年崎兒 度縣島 經預縣 費リ元 増中雇 加借國 ノ庫人 事料所 外有 務物 省品	ノ賃臺 事錢灣 陸ノ 軍役 省二 十備 年使 度セ 經シ 費人 ノ夫 増一 加増	ノノ下 事分野 驛國 遞鳥 局山 十郵 年便 度局 經爲 費換 一金 増燒 加失	ノ費開 九負拓 年債使 度へ士 別消族 途却伊 渡ス達 ノ一某 事キ外 金一名 額同開 使拓	年虎 度列 經刺 費病 ノ豫 増防 加救 ノ治 事費 警視 局十
(全 上)	一 丁	(全 上)	(全 上)	(全 上)	(全 上)	(全 上)	(卷中略之)

目〇官

宮十 內一 省年 稟三 裁月	本十 省一 年三 令三 達月	內十 務一 省年 稟三 裁月	十一年 二月 本省 ヨ リ内 務省 へ通 達	內十 務一 省年 稟三 裁月	司十 法一 省年 稟三 裁月	本十 省一 年二 令二 達月
加買琉 ノ上球 事代藩 内内 務へ 省兵 十營 年等 度設 經備 費ノ 地増	宮下 內並 省昇 ヨ降 口増 政ノ 官營 織ノ 臨御 省ノ 十廳	地被 定方 ノ官 事會 議開 設二 付右 經費 金	十東 年京 度警 經視 費監 獄増 加増 ノ費 事用 警視 局	費及國 該事 増囚 加賄 ノ費 事等 警護 視送 局ノ 十年 吏旅 度經費	院省東 費十京 十年府 一度下 年經脚 度費氣 以病 増院 加設 及立 被ヒ費 定該 ノ病 務	加洩セ ノシ 事分海 太軍臣 政省二 官官隨 十員行 年等朝 度へ鮮 經賞國 費與へ 金派 増賜遣
(全 上)	三 丁	(全 上)	(卷中略之)	二 丁	(全 上)	(全 上)

(十一年四月九州臨時
裁判事務取扱局稟裁)

(十一年四月本省
リ外務省へ回答)

(十一年決議
四月)

(十一年四月
海軍省稟裁)

(十一年四月內務
宮内兩省へ令達)

(十一年四月
外務省稟裁)

(十一年四月本省
リ外務省へ回答)

長崎熊本兩裁判所等於九
州臨時裁判事務取扱局
費用別途交付臨時裁判
事務取扱局稟裁

鹿兒島縣元給外務省
交費付ス島縣元給外
經費用増加ノ給外務
豐後國竹田郵局外二
金官損ノ事分驛遞局
増官損ノ事分驛遞局
英十年度注經文ノ三
省十年度注經文ノ三
御陵墓事務並府內營
內務省事務並府內營
舊高知藩於先年雇
國人雇期限於中放免
債金外務省限於中放
ノ債金外務省限於中放
鹿兒島縣元給外務省
増加ノ事分驛遞局

開拓使所轄八箇館關
十一年度費用額八箇
小阪鐵道山官行増加
可度下興業費上代ノ
工部兩省稟裁

山別作途業渡方等一
省林別作途業渡方等
本省一年令五達月

西滿南出張權少警視
年者滿南出張權少警
內務省一年令五達月

廣島城內元増加ノ警
追支給内元増加ノ警
陸軍省一年令五達月

西張南暴動ニ際シ警
増張南暴動ニ際シ警
內務省一年令五達月

鎮撫石川兩縣下景九
鎮撫石川兩縣下景九
陸軍省一年令五達月

恩賜官員ノ費用陸軍
恩賜官員ノ費用陸軍
本省一年令五達月

常費トシテ其時可相
事常費トシテ其時可
本省一年令五達月

目官

(十一年五月
本省稟裁)

(十一年五月大藏
工部兩省稟裁)

(十一年五月
本省一年令五達月)

(十一年五月
內務省稟裁)

(十一年五月
陸軍省稟裁)

(十一年五月
本省一年令五達月)

(十一年五月
本省一年令五達月)

開拓使所轄八箇館關
十一年度費用額八箇
小阪鐵道山官行増加
可度下興業費上代ノ
工部兩省稟裁

山別作途業渡方等一
省林別作途業渡方等
本省一年令五達月

西滿南出張權少警視
年者滿南出張權少警
內務省一年令五達月

廣島城內元増加ノ警
追支給内元増加ノ警
陸軍省一年令五達月

西張南暴動ニ際シ警
増張南暴動ニ際シ警
內務省一年令五達月

鎮撫石川兩縣下景九
鎮撫石川兩縣下景九
陸軍省一年令五達月

恩賜官員ノ費用陸軍
恩賜官員ノ費用陸軍
本省一年令五達月

常費トシテ其時可相
事常費トシテ其時可
本省一年令五達月

本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月
瀨 船 大 賞 加 賜 幸 丸 事 政 官 十 一 年 付 議 官	地 租 改 正 費 若 分 更 十 二 年 減 額 局 事	便 遞 局 十 年 換 金 燒 失 其 他 官 損 ノ ノ 分	新 軍 官 十 年 書 某 外 費 名 增 ノ 事 金	海 軍 省 六 年 令 六 達 月	十 一 省 六 年 令 六 達 月	舊 澳 國 博 覽 會 事 務 局 外 人	熊 本 費 裁 判 所 建 築 司 法 省 十 年	料 從 五 位 某 外 官 十 年 賜 經 費	故 從 五 位 某 外 官 十 年 賜 經 費	增 加 金 額 太 政 官 十 年 賜 經 費	加 五 位 某 外 官 十 年 賜 經 費	加 五 位 某 外 官 十 年 賜 經 費	加 五 位 某 外 官 十 年 賜 經 費
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

十一月七月九州臨時
裁判發務取扱局稟裁

本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月	本十 省一 ～年 令七 達月
長 崎 時 本 判 兩 裁 判 所 等 於 九 局	州 臨 九 時 本 判 兩 裁 判 所 等 於 九 局	費 別 途 交 付 時 裁 判 所 等 於 九 局	熊 郵 局 十 年 換 資 金 損 ノ ノ 事	加 賜 金 宮 內 右 省 十 年 子 從 五 位 某	大 久 保 宮 內 右 省 十 年 子 從 五 位 某	大 久 保 宮 內 右 省 十 年 子 從 五 位 某	大 久 保 宮 內 右 省 十 年 子 從 五 位 某	大 久 保 宮 內 右 省 十 年 子 從 五 位 某	大 久 保 宮 內 右 省 十 年 子 從 五 位 某	大 久 保 宮 內 右 省 十 年 子 從 五 位 某	大 久 保 宮 內 右 省 十 年 子 從 五 位 某	大 久 保 宮 內 右 省 十 年 子 從 五 位 某	大 久 保 宮 內 右 省 十 年 子 從 五 位 某
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

目
〇
官

内十 務一 省年 稟十 裁月	内十 務一 省年 稟十 裁月	宮十 內一 省年 稟十 裁月	外十 務一 省年 稟九 裁月	本十 省一 决年 議九 月	宮十 內一 省年 上九 月	本十 省一 令九 達月	外十 務一 省年 稟九 裁月	内十 務一 省年 稟九 裁月	
營買小 繕上管 費費村 へ等監 増警獄 加視建 ノ局築 事十費 一及へ 年地補 度所填 監器ノ 獄械事	省十炭 度年酸 御用度 へ所新 加築ノ 事帝室 十十一	年皇 度居 御用度 へ所新 加築ノ 事帝室 十十一	一外 年務 度省 經新 費築 へ費 増不 加足 ノノ 事分 同省 十	經ノ警 費五視 へ節局 増減十 ノ分度 事更經 ニ費 同半 局歲 同額 年百 度分	帝御 室十 料一 分年 度度 月御 以用 降度 ノ方 内ニ 建不 宮	英省 國十 議一 員年 度度 月御 以用 降度 ノ方 内ニ 建不 宮	増給 加ノ 分島 事外 務元 省雇 十外 一國 年人 度へ 經給 費料 へ追	定及 ノ該 事病 院省 費十 同一年 度度 以經 降費 増へ 額増 被加 繕	東 京府 下 脚一 氣年 病度 院破 損所 増修 繕
(全)	(全)	(全)	(全)	(全)	(全)	(全)	(全)	(全)	
上	上	上	上	上	上	上	上	上	

本十 省一 令九 達月	本十 省一 令九 達月	部十 省一 令九 達月 工	本十 省一 令八 達月	宮十 內一 省年 稟八 裁月	外十 務一 省年 稟八 裁月	幸御 用掛 令達	内十 務一 省年 稟七 裁月	草十 案一 審七 查月 局稟 裁裁	
事太舊 政大官 十少一 年某 度外 經六 費名 へ増 賞與 ノ金	ヨ二開 付拓 受右使 取ニ管 更關下 ニス札 司ル幌 法費へ 省用裁 自判 可今所 渡同設 ノ使置	省渡英 十ノ國 一家議 年屋員 度裝リ 經飾ト 費費ト 増目渡 加途來 ノ高ノ 事工節 部貸	政陸 官軍 十中 一尉 年某 度外 經一 費名 へ増 賞與 ノ金	へ建 増宮 加御 ノ入 事費 帝室 十年 度御 用度	度佛 經國 費人 へ某 増加 ノ謝 事金 外同 務會 十務 官覽	西曆 ノ千 八 百六 十七 年 佛國 博覽	定北 陸東 事海 兩道 御巡 幸ノ 費額 被	局警 同視 年局 度十 經年 費へ 増加 ノノ 事分 同	金刑 被法 定草 ノ案 審查 局十 一年 度經 費六
(卷 中略 之)	八	(全)	(全)	(全)	(卷 中略 之)	七	(卷 中略 之)	六	
丁	丁	上	上	上	丁	丁	丁	丁	

(十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月)

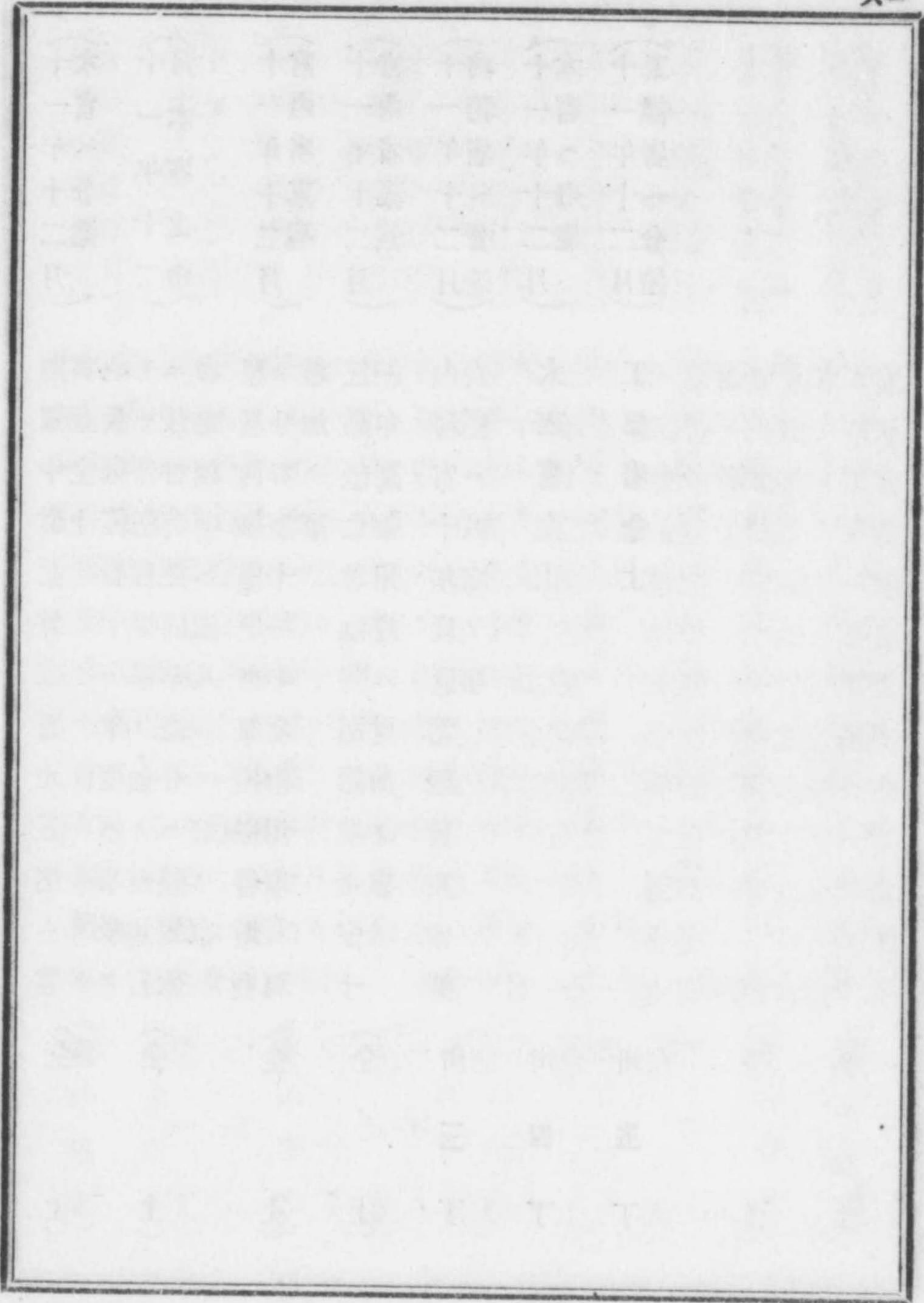
近衛砲兵暴動事件其付警部補費
 以下者一慰勞金其他增加諸費
 警視局十一年テ元華族會館
 外務省用地トテ元華族會館
 買上代同省トテ元華族會館
 加ノ事同省トテ元華族會館
 元華族會館ニ連テ外務省一省
 所屬家屋買上代テ外務省一省
 年度經費增加ノ事外務省一省
 鹿兒島熊本兩郵便局新築費內
 務省十一年ノ儀經ハ内
 取消增加ノ事遞送局一十一年
 費ハ增加ノ事遞送局一十一年
 京都市御所向修繕宮内省管理
 成同省ニ御所向修繕宮内省管理
 大藏省官屬一某年外三費增加
 金太政官屬一某年外三費增加
 元熊本縣一七等屬某外十三名
 并賞與福岡縣一七等屬某外十三名
 并賞與福岡縣一七等屬某外十三名
 増賞與福岡縣一七等屬某外十三名

(十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月) (十一年省稟十一月)

佛國價ノル不船沉没採揚品買
 上代價ノル不船沉没採揚品買
 一年度經費增加ノ事
 長崎與關大藏省補十一年外四度一費名
 増賞與關大藏省補十一年外四度一費名
 山口縣士族某賞與金太政官
 熊本縣士族某賞與金太政官
 元大分縣御用掛某外六名賞
 元長崎縣三某外十二名與金并
 熊本縣長崎區長某外十二名與金并
 全上縣等警部某外二名賞
 大分縣等警部某外二名賞
 與金全縣上等警部某外二名賞
 元福岡縣七等屬某外一名賞
 與金全縣七等屬某外一名賞
 阿仁鑛山產出銅量欠缺減額工對
 工部省稟十二月) (十一年省稟十二月) (十一年省稟十二月) (十一年省稟十二月) (十一年省稟十二月) (十一年省稟十二月) (十一年省稟十二月) (十一年省稟十二月)

目〇官

(卷中略之)



○府縣定額之部

(十一一年一月内) 務省へ令達 神奈川縣下外國人居留地増加
 (十一一年二月) 府縣經費被定ノ事 卅七丁
 (十一一年三月内) 熊本縣警部巡查増置ノ費用十
 (十一一年三月内) 分府縣警察費増加ノ事 全上
 (十一一年三月内) 福島縣警察定額増加ノ事 全上
 (十一一年三月内) 減シ府縣警察費増加ノ事 全上
 (十一一年三月内) 府縣判任官月給定額ノ事 卅九丁
 (十一一年三月内) 省ヨリ石川縣へ指令 卅九丁
 (十一一年三月内) 號文部省達 配付ノ事 公立師範學校補助金 (卷中略之)
 (十一一年三月内) 務省へ令達 山縣警察費増加ノ費用十年 (全上)

目○府

(十一年四月本省ヨリ東京府へ達)	伊豆國七島東京府所管增加ノ事 (卷中略之)
(十一年四月本省ヨリ兵庫縣へ指令)	兵庫縣洲本支廳廢止ニ付同縣 (全上)
(十一年四月本省ヨリ福岡縣へ指令)	福岡縣小倉久留米兩支廳廢止ニ付同縣 (全上)
(十一年四月十四號府縣へ公達)	十一年度神社經費額被定ノ事 (社寺ノ部ニアリ略之)
(十一年四月内務大藏兩省ヨリ靜岡縣へ指令)	伊豆國七島東京府へ管轄ノ事ニ付靜岡縣十年度經費減額ノ事 (卷中略之)
(十一年五月本省ヨリ神奈川縣へ指令)	徵兵檢査場席料増手當支給方 (卅九丁)
(十一年五月内務省へ令達)	秋田縣金庫護衛巡査手當金十 (卷中略之)
(十一年五月乙四十四號内務省達)	衛生事務取扱吏員撰定ノ事 (四十丁)
(十一年五月本省ヨリ熊本縣へ指令)	熊本縣内牧支廳新設ニ付同縣 (卷中略之)
(十一年五月本省ヨリ福島縣へ指令)	福島縣若松支廳廢止ニ付同縣 (全上)

(十七年七月十七號布告)	郡區町村編制法ノ内郡長區長 (四十一丁)
(十一年七月卅二號府縣へ公達)	府縣官職制中府知事縣令書記官其外定員等ノ事 (四十二丁)
(十一年十月鹿兒島縣へ令達)	鹿兒島縣十年度經費額被定ノ事 (四十三丁)
(十一年十月府縣へ令達)	十一年度府縣經費額被定ノ事 (四十四丁)
(十一年十月内務省へ令達)	同年度警察費額被定ノ事 (四十六丁)
(十一年十月内務省稟裁)	新潟縣豫備金十一年度ヨリ増額ノ事 (四十八丁)
(十一年十月内務省ヨリ府縣へ達)	十一年度各府縣警察費額決定ノ事 (卷中略之)
(十一年十一月本省ヨリ廣島縣へ達)	廣島縣銚山經費十二年度已降作業費出納條例ニ準據處分ス (費目ノ部ニアリ略之)
(十一年十二月廿五號陸軍省達)	徵兵檢査場備品收置藏敷料ノ事 (四十八丁)
(十一年十二月廿六號本省達)	府縣經費申請概則第二項中改正ノ事 (四十九丁)

(五十六年十二月公達)

三大節酒饌料廢止付右ノ金
員十ノ一節年度各應定額中減額
五丁

Faint table of contents on the right page, including items like '出方ノ官事以下事務勉勵手當金支' and '征討費シ賣却セシ物品不用'.

○費目之部

(十一年一月本省ヨ
リ山形縣へ指令)

出方ノ官事以下事務勉勵手當金支
(手當ノ部ニ
アリ略之)

(十一年一月二號征
討費總理事務局達)

征討費シ賣却セシ物品不用
五十三丁

(十一年一月檢査局
ヨリ青森縣へ回答)

制札費ト掲示場修繕費ト區分
(堤防營繕ノ部
ニアリ略之)

(十一年一月檢査局
ヨリ岩手縣へ回答)

裁判所ヨリ發スル人民呼出狀
五十三丁

(十一年一月檢査局
ヨリ警視局へ通達)

已決ノ因就學ニ付書籍買上費支
(囚人ノ部ニ
アリ略之)

(十一年 本省 達)

線算ノ附例費目ノ部(十一號)警
察官吏ノ警務ニ代用スル諸
五十四丁

(十一年二月本省ヨ
リ島根縣へ指令)

囚人護送ノ巡査旅費支拂方ノ
(囚人ノ部ニ
アリ略之)

目 ○費

(十一年二月本省ヨ リ官院省使へ通達)	(十一年二月乙 五號本省達)	(十一年二月本省ヨ リ山梨縣へ指令)	(十一年三月檢査局 ヨリ福島縣へ回答)	(十一年三月内務省 ヨリ廣島縣へ指令)	(十一年三月本省ヨ リ埼玉縣へ指令)	(十一年三月内務省 ヨリ三重縣へ指令)	(十一年三月内務省 ヨリ島根縣へ指令)	(十一年三月檢査局 ヨリ警視局へ回答)
勸 書 更 小 科 目 四 分 正 大 科 目 營 繕 費 ノ 賞 内	事 ヲ 書 更 小 科 目 四 分 正 大 科 目 營 繕 費 ノ 賞 内	勘 定 帳 目 正 大 科 目 營 繕 費 ノ 賞 内	勘 定 帳 目 正 大 科 目 營 繕 費 ノ 賞 内	勘 定 帳 目 正 大 科 目 營 繕 費 ノ 賞 内	勘 定 帳 目 正 大 科 目 營 繕 費 ノ 賞 内	勘 定 帳 目 正 大 科 目 營 繕 費 ノ 賞 内	勘 定 帳 目 正 大 科 目 營 繕 費 ノ 賞 内	勘 定 帳 目 正 大 科 目 營 繕 費 ノ 賞 内
(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)

(十一年四月檢査局 ヨリ警視局へ回答)	(十一年五月檢査局 ヨリ群馬縣へ回答)	(十一年五月本省ヨ リ宮城縣へ指令)	(十一年五月 廿號公達)	(十一年六月本省ヨ リ海軍省へ回答)	(十一年七月 十九號布告)	(十一年七月 號府縣へ公達)	(十一年七月 府縣へ公達)	(十一年七月檢査局 ヨリ山梨縣へ回答)	(十一年七月檢査局 ヨリ福岡縣へ回答)
已 決 給 料 支 出 方 ノ 事 入 ル 、 教 師	已 決 給 料 支 出 方 ノ 事 入 ル 、 教 師	已 決 給 料 支 出 方 ノ 事 入 ル 、 教 師	已 決 給 料 支 出 方 ノ 事 入 ル 、 教 師	已 決 給 料 支 出 方 ノ 事 入 ル 、 教 師	已 決 給 料 支 出 方 ノ 事 入 ル 、 教 師	已 決 給 料 支 出 方 ノ 事 入 ル 、 教 師	已 決 給 料 支 出 方 ノ 事 入 ル 、 教 師	已 決 給 料 支 出 方 ノ 事 入 ル 、 教 師	已 決 給 料 支 出 方 ノ 事 入 ル 、 教 師
(囚人ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(救恤ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)	(簿記ノ部ニ アリ略之)

目
〇
費

(十一年七月検査局ヨリ岐阜縣へ回答)	諸物品中新調修繕費用ノ内營繕	六十七丁
(十一年八月検査局ヨリ廣島縣へ回答)	遺失物ノ官係ルモ其得者	六十八丁
(十一年八月検査局ヨリ群馬縣へ回答)	武官勳等年金科目ノ事	(簿記ノ部ニアリ略之)
(十一年八月本省ヨリ大坂府へ指令)	徴兵費ハ他ノ費額ヨリ流用難	(卷中略之)
(十一年九月検査局ヨリ秋田縣へ回答)	官金取扱ノ爲メ金銀鑑定ノ者	六十九丁
(十一年九月警視局ヨリ群馬縣へ回答)	軍人軍屬脱走ノ者護送諸費仕	(脱籍ノ部ニアリ略之)
(十一年九月司法省ヨリ本省へ回答)	訴訟入費ノ内訴狀等認料償却	六十九丁
(十一年十月式部寮稟裁)	春秋二季皇靈祭遙拜式費用等	(社寺ノ部ニアリ略之)
(十一年十月内務省稟裁)	稻蟲驅除費支出方ノ事	七十丁
(十一年十月乙六十五號内務省達)	警部巡查及警察諸雇等事務勉	(褒賞ノ部ニアリ略之)

(十一年十月陸軍省へ令達)	砲兵廠經費ノ儀シ一年度以降	七十一丁
(十一年十一月内務省ヨリ埼玉縣へ指令)	懲役人所携ノ乳兒養育ノ費用	(救恤ノ部ニアリ略之)
(十一年十一月本省ヨリ廣島縣へ指令)	米麥其他物品相場書用紙等ノ	七十二丁
(十一年十一月乙七十二號内務省達)	郡區支長及書記勉勵賞與金并旅	(褒賞及旅費ノ部ニアリ略之)
(十一年十一月検査局ヨリ廣島縣へ回答)	他應ノ依頼ニヨリ懲治權ニ在	七十三丁
(十一年十一月本省ヨリ廣島縣へ達)	廣島縣山經費十二年度已降	全
(十一年十二月本省ヨリ陸軍省へ回答)	營繕費一ト廉千圓以上目途ノ	七十四丁
(十一年十二月工部省稟裁)	工部省作業費ニ關スル貨物ノ	七十五丁
(十一年十二月廿五號陸軍省達)	徵兵検査場備品收置藏敷料支	(府縣定額ノ部ニアリ略之)

目〇費

(十一年十二月乙八 十四號内務省達)	地方稅支拂爲換方給料支出方 (雜則ノ部ニ アリ略之)
(十一年十二月五十 三號府縣へ公達)	戸長職ノ務ニ勉勵スル者賞與金 (褒賞ノ部ニ アリ略之)
(十一年上十二 月本省申)	砲兵廠ノ經費規程ノ如クハ陸軍施行 省ニ付右中ニ組入ル等ノ事 (卷中略之)

○簿記之部

(十一年一月 一號公達)	勸定帳書式改正付通算出方明 七十九丁
(十一年一月 月本省達)	諸規則附例勸定帳編製ノ部 (囚人ノ部ニ アリ略之)
(十一年二月本省ヨ リ官院省へ通達)	費用官立モ及ヒ稅外收入勘定 八十丁
(十一年二月本省ヨ リ開拓使へ通達)	開拓使全上 百十四丁
(十一年二月乙 五號本省達)	府縣全上 百十八丁
(十一年二月乙 十一號本省達)	八年六月以前係ル出納鎖閉 (雜則ノ部ニ アリ略之)
(十一年二月本省ヨ リ院省使へ通達)	全上 (全上)

(十一年三月本省ヨリ宮内省へ回答)	勘定帳中營繕費登載方ノ事	百五十四丁
(十一年二月本省ヨリ開拓使へ通達)	開拓使金穀出納順序至ラサル	百五十五丁
(十一年三月本省ヨリ官院省使へ通達)	十一年一月以降通算表明細表	百五十六丁
(十一年三月本省ヨリ官院省使へ通達)	九州地方賊徒征討ニ關スル費	百五十七丁
(十一年三月本省ヨリ官院省使へ通達)	全上	百五十八丁
(十一年三月本省ヨリ官院省使へ通達)	十一一年一月以降通算表明細表	百五十九丁
(十一年三月本省ヨリ官院省使へ通達)	乙支第一號達社經費勘定帳元受編	百六十丁
(十一年三月本省ヨリ官院省使へ通達)	分製書式期事越高勘定帳元受編	百六十五丁
(十一年三月本省ヨリ官院省使へ通達)	越書式ノ受事於テ各帳へ分裂スヘ	百六十六丁
(十一年三月本省ヨリ陸海軍省へ通達)	定組ノ金或ハ盜難金償却ノ分勘	百六十七丁

(十一年四月本省ヨリ官院省局へ通達)	納付金ノ内證書金有之分ハ上	全
(十一年五月検査局ヨリ群馬縣へ回答)	一節般人民強盜ヲ捕獲セシ等	百六十七丁
(十一年五月本省ヨリ官院省使局へ通達)	八年度所屬方ノ出納鎖閉期限及	(雜則ノ部ニアリ略之)
(十一年五月本省ヨリ官院省使局へ通達)	全上	(全上)
(十一年五月乙)	貿易銀ノ數位計算簿記方改正	(貨幣ノ部ニアリ略之)
(十一年五月乙)	石高割并宮方舊藩ノ貸下金勘	(貸與ノ部ニアリ略之)
(十一年六月乙)	定帳離形中增加等ノ事	百六十八丁
(十一年六月乙)	金穀受取證書へ月日記入方ノ	百六十九丁
(十一年六月本省ヨリ内務外六省並開拓使へ通達)	九年度未決算附録勘定帳差出	全
(十一年六月乙)	全上	百七十丁
(十一年六月検査局ヨリ京都府へ回答)	請求金額勘定帳へ掲記スヘキ	百七十一丁

目 ○簿

(十一年六月乙 卅三號本省達)	租稅未納ノ分後年追徵ノ事節稅	百七十丁
(十一年七月本省ヨ リ工部省へ回答)	勘定帳書式改正條例第四項中	百七十一丁
(十一年七月本省ヨ リ工部省へ回答)	工埋等内料等編入方ノ傷手當及職	百七十一丁
(十一年七月本省ヨ リ工部省へ回答)	九州地方賊徒征討費支出鎖閉	(雜則ノ部ニ アリ略之)
(十一年七月本省ヨ リ官院省使局へ通達)	稅外收入方ノ定帳書式中末季納	百七十二丁
(十一年七月乙 卅六號本省達)	全上	百七十三丁
(十一年七月 本省稟裁)	在海外各館經費勘定帳精理方	百七十四丁
(十一年七月 十九號布告)	地方稅報以テ支辨スヘキ經費	百七十九丁
(十一年七月乙 卅八號內務大藏兩省達)	懲役人滿期付與金給與方及勘	(囚人ノ部ニ アリ略之)
(十一年七月 卅四號公達)	出納鎖閉期限被定ノ事	(雜則ノ部ニ アリ略之)
(十一年七月本省ヨ リ和歌山縣へ指令)	稅外收入勘定帳外書ニ記載ス	百八十一丁

(十一年八月乙 四十號本省達)	決算濟金支取計フ節勘定帳整	百八十二丁
(十一年八月本省ヨ リ官院省へ通達)	全上	全
(十一年八月檢査局 ヨリ群馬縣へ回答)	武官勳等年金勘定帳へ編入方	百八十四丁
(十一年八月本省ヨ リ工部省へ回答)	工部省作業費中營業費歲末決	百八十五丁
(十一年九月 卅九號公達)	官有財産取調ノ事	百八十八丁
(十一年九月本省ヨ リ工部省へ回答)	作業費分前通常經費ヲ以	百八十九丁
(十一年九月本省ヨ リ官院省使局へ通達)	稅外收入勘定帳以テ本ノ内大藏	百九十丁
(十一年九月乙 卅三號本省達)	全上	全
(十一年九月本省ヨ リ官院省使へ通達)	官有財産ノ價格取調離形ノ事	百九十一丁
(十一年九月乙 卅四號本省達)	繰替分組金勘定帳書式中豫備	二百十六丁

(十一年九月乙酉) 十五號本省達	官有財産ノ價格取調雛形ノ事	二百十六丁
(十一年九月四) 十二號公達	金銭出納簿記十二年七月ヨリ 複記法ニ改正スヘキノ事ヨリ	二百十八丁
(十一年十月乙酉) 五十號本省達	稅外收入ノ金上納證書ヘキノ收入所 屬ノ年度ヨリ掲載スヘキノ事	二百十九丁
(十一年十月本省ヨリ) 官省院使局ヘ通達	全上	全
(十一年十月乙酉) 十四號內務省達	河港道路橋梁修築費并營繕費 勘定帳整理期限ノ事	(堤防營繕ノ部ニ ニアリ略之)
(十一年十月本省ヨリ) 鹿兒島縣ヘ達	支應ノ島縣經費ハソノ内大島始島々 別勘定仕費可取計等ノ分取束子々	(卷中略之)
(十一年十月乙酉) 號地租改正局達	証印稅受拂勘定帳附屬明細表 中更正ノ事	二百廿丁
(十一年十月乙酉) 十七號內務省達	警察費勘定帳及内譯表雛形共 改定ノ事	二百廿三丁
(十一年十一月本省ヨリ) 官省院使局ヘ通達	九年度所屬ノ出納鎖閉期限等 ノ事	(雜則ノ部ニ アリ略之)
(十一年十一月乙酉) 五十二號本省達	九州地方賊徒征討費計算總理	二百八十三丁

(十一年十一月乙酉) 五十三號本省達	九年度所屬ノ出納鎖閉期限等 ノ事	(雜則ノ部ニ アリ略之)
(十一年十一月乙酉) 十九號內務省達	十一年度警察費豫算内譯簿差 出方等ノ事	二百八十五丁
(十一年十一月本省ヨリ) 官省院使局ヘ通達	計算簿記條例ヲ定ムルノ事	二百九十五丁
(十一年十一月乙酉) 五十五號本省達	全上	三百一丁
(十一年十一月乙酉) 六十號本省達	金該証書并勘定帳書式等ノ取方 及該証書取立年限中負債主逃 諸貸下未納金勘定帳整理方等	(証券ノ部ニ アリ略之)
(十一年十一月乙酉) 六十一號本省達	亡事ノ節未納金勘定帳整理方等	三百二丁
(十一年十一月本省ヨリ) ヨリ開拓使ヘ通達	北海道諸產物報告表可差出ノ定 帳ヲ止メ更ニ報告表可差出ノ定	三百三丁
(十一年十一月乙酉) 六十四號本省達	金該証書并勘定帳書式等ノ取方 帳簿形中更正等ノ事	(証券ノ部ニ アリ略之)
(十一年十二月乙酉) 六十八號本省達	歲入出豫算ノ金額納拂期限取 調書式等ノ事	(雜則ノ部ニ アリ略之)
(十一年十二月乙酉) 六十九號本省達	決算前額中支取計フ分勤ノ出 納鎖閉事	三百六丁

(十一年十二月本省ヨ
リ官省院使局へ通達)
七十一號本省達

決算濟金額中其相當年度ノ出
組ノ鎖閉前ニ收支取計々分勘定
府縣官員ノ現數ノ每年取調可差
出表面中記載方ノ事
三百六丁
三百七丁

○俸給之部

(十一年一月丙
一號內務省達)

神官ノ等給更定ニ付再任ノ者
三百十一丁

(十一年三月
七號公達)

諸規則附例ノ部(十二號)給
仕陵墓丁獄等ノ月俸日數ハト
雖刑給與並放免ノ月俸日數ハト
日割給事ノ記官書記生等ル轉
公使領事ヨリ他書轉任スル節
任及同官事方ノ事
月俸支給方ノ事
公使領事改用ノ例第廿條第二
項但書中事
甲應節月業技術者ヲ乙廳ニ使役
スル節月業技術者ヲ乙廳ニ使役
警視局大警部下被置ノ被廢更ニ一
等警視補以部下被置ノ被廢更ニ一
公使領事費追加例ノ中副領事年
俸其他改正追加等ノ事
三百十二丁
三百十三丁
三百十四丁

(十一年三月本省ヨ
リ工部省へ回答)

海外派遣ノ部
ニアリ略之
三百十三丁

(十一年四月
十二號公達)

海外派遣ノ部
ニアリ略之
三百十四丁

(十一年四月外
務省へ令達)

海外派遣ノ部
ニアリ略之
三百十四丁

目 ○ 俸

十一月五年外務省稟載	十一月五年外務省稟載	十一月五月檢査局ヨリ長野縣へ回答	十一月六月本省稟裁	十一月六月外務省稟裁	十一月六月廿四號公達	十一月七月本省ヨリ海軍省へ回答	十一月七月廿二號府縣へ公達	十一月七月檢査局ヨリ廣島縣へ回答	十一月八月廿五號府縣へ公達
魯國滿潮港在勤貿易事務官年俸ノ事	公使領事費用條例中改正加除ノ事	歸省等ノ墓丁獄丁等病氣引忌引	武官非職中官兼任ノ者病氣	伊國未關領事年俸等ノ事	宮内省中皇太后宮大夫同亮ヲ置	署中賜暇ニ際シ既ニ歸省中ノ	事區長及ヒ書記ノ等給被定ノ	神官ヨリ政務ノ官員へ轉セシ	縣官任期例改定ノ事
(海外派遣ノ部ニアリ略之)	(全上)	三百十五丁	三百十六丁	(海外派遣ノ部ニアリ略之)	三百十七丁	三百十八丁	全	三百廿丁	三百廿一丁

十一月九年九月廿七號公達	十一月十月外務省ヨリ本省へ通達	十一月十月四號公達	十一月十月四號公達	十一月十月四號公達	十一月十月四號公達	十一月十月四號公達	十一月十一月本省ヨリ石川縣へ指令	十一月十一月內務省稟裁	十一月十二月四十九號公達	十一月十二月本省稟裁
式部寮中伶人以下ヲ廢シ更ニ	公使領事費用併セテ更ニ刊行	月俸規則第十五條中但書追加	大藏省中鑑定役ヲ置キ等給被定	郡書記俸給改正ノ事	徵兵下檢査ニ付醫員ヲ要スル	節備給料ノ事	勅任ノ府知事縣令ハ三等官ニ	後備軍籍ニアル事巡査出臺復習	大藏省中一等監吏補以下官等	郡區長等ヨリ他ノ官吏へ轉任
三百廿三丁	(海外派遣ノ部ニアリ略之)	三百廿四丁	三百廿五丁	三百廿六丁	三百廿七丁	三百廿八丁	三百廿九丁	三百卅丁	三百卅一丁	三百卅一丁

目〇俸

(五十四號十二月公達)

官内省中侍補ノ事

三百卅二丁

(五十四號十二月公達)	官内省中侍補ノ事	三百卅二丁
(五十三號十一月公達)
(五十二號十月公達)
(五十一號九月公達)
(五十號八月公達)
(四十九號七月公達)
(四十八號六月公達)
(四十七號五月公達)
(四十六號四月公達)
(四十五號三月公達)
(四十四號二月公達)
(四十三號一月公達)
(四十二號十二月公達)
(四十一號十一月公達)
(四十號十月公達)
(三十九號九月公達)
(三十八號八月公達)
(三十七號七月公達)
(三十六號六月公達)
(三十五號五月公達)
(三十四號四月公達)
(三十三號三月公達)
(三十二號二月公達)
(三十一號一月公達)

○年勞賜之部

(十一年一月丙)

神官等給更定ニ付再任ノ者月

三百卅五丁

(十一年五月外務省へ令達)

公使領事費用條例第廿三條中

(海外派遣ノ部ニアリ略之)

(十一年七月法制局ヨリ検査局へ回答)

依願免官後直ニ拘留相成シモ

三百卅六丁

(十一年八月卅五號府縣へ公達)

府縣官任期例中滿年賜金ノ事

三百卅七丁

(十一年十二月乙八十二號内務省達)

府縣官ヨリ郡區長並書記へ轉

三百卅八丁

目 ○年

Table with multiple columns and rows, containing faint text and numbers, likely a detailed ledger or list. The text is mostly illegible due to fading.

〇旅費之部

<p>（十一年一月検査局ヨリ千葉縣へ回答）</p> <p>支晝夜急行ト巡回ト跨ル節旅費</p> <p>三百四十二丁</p>	<p>（十一年二月検査局ヨリ太政官用度掛へ回答）</p> <p>神官旅費ノ等級改正ノ事</p> <p>三百四十二丁</p>	<p>（十一年二月本省ヨリ茨城縣へ指令）</p> <p>官吏出張ノ先証人召連シ節旅費支給方先ノ事</p> <p>三百四十四丁</p>	<p>（十一年三月本省ヨリ三重縣へ指令）</p> <p>諸規則先附ノ在旅中費内國ノ部（廿六號）出張派駐ノ節旅費支給方ノ事</p> <p>三百四十五丁</p>	<p>（十一年三月検査局ヨリ岐阜縣へ回答）</p> <p>外兵檢査ヨリ呼寄スル備醫三里支給方ノ事</p> <p>全</p>	<p>（十一年三月検査局ヨリ岐阜縣へ回答）</p> <p>管内ニ準シ旅費支給スル管外</p> <p>三百四十六丁</p>
---	---	--	--	---	--

目 〇旅

(十一年四月本省ヨリ新瀉縣へ指令) 徵兵年給方ノ者檢査當日滞在日 二百四十七丁

(十一年四月) 英佛兩國郵船乗組手發行 海外派遣ノ部ニアリ略之

(十一年四月) 旅費定則中里程算出方ノ事 二百四十八丁

(十一年四月本省ヨリ岩手縣へ指令) 管內出張者其所在勤ヲ命 二百四十九丁

(十一年四月) 差額追給方ト出張先モテ歸郷旅費 三百五十丁

(十一年四月) 後募具出ナリ先モテ歸郷旅費 三百五十丁

(十一年四月外務省へ令達) 支給方ト出張先モテ歸郷旅費 三百五十丁

(十一年五月十六號使府縣へ公達) 公使領事費用條例中改正加除 海外派遣ノ部ニアリ略之

(十一年五月外務省へ令達) 公使領事費用條例中改正追加 海外派遣ノ部ニアリ略之

(十一年五月乙廿四號本省達) 諸官員公事旅行中非常災害 三百五十二丁

(十一年五月本省ヨリ官院省使局へ通達) 方ノ逢事 全

(十一年六月檢査局ヨリ福島縣へ回答) 惡病流行ノ際公立病院支給方員 手當ノ部ニアリ略之

(十一年六月本省ヨリ内務省へ回答) 出張切實ノ算ノ旅行連月亘ル分中 三百五十四丁

(十一年七月本省ヨリ大分縣へ指令) 巡方中廳下滞留ノ者へ日當支 三百五十五丁

(十一年七月) 御巡幸供奉諸官員旅費支給方 三百五十六丁

(十一年七月) 本省へ令達 御巡幸供奉ノ巡査へ支度料支 三百五十七丁

(十一年七月本省ヨリ内務省へ回答) 琉球藩及小笠原島内務省出張 全

(十一年八月檢査局ヨリ群馬縣へ回答) 甲爲ノ支官員乙ノ縣ノ官員ト協議 三百五十九丁

(十一年九月本省ヨリ山口縣へ指令) 甲縣ノ官員乙縣ニ出張令拜政 三百六十丁

(十一年九月檢査局ヨリ愛媛縣へ回答) 出張官費隨給方ノ事 錢鑑定 三百六十二丁

(十一年九月司法省ヨリ本省へ回答)

訴訟金領算出方規則第七條中ノ
三百六十二丁

(十一年九月檢査局ヨリ滋賀縣へ回答)

巡査警察署へ送付ノ中犯人ヲ捕
三百六十四丁

(十一年十月本省ヨリ和歌山縣へ指令)

支廳在勤ノ官吏ヨル本廳へ呼寄
三百六十五丁

(十一年十月外務省ヨリ本省へ通達)

公使領事費用ノ係事ル中追々改
正(海外派遣ノ部ニアリ略之)

(十一年十月四十三號公達)

旅費定則第十九章へ但書追加
三百六十六丁

(十一年十月本省ヨリ埼玉縣へ指令)

赤貧ノ者ノ官節該旅費支給方ノ
三百六十七丁

(十一年十一月乙七十三號內務省達)

郡區長及書記出張旅費ノ事
三百六十九丁

(十一年十一月內務省稟裁)

後備軍籍ニアル巡査復習ノ爲
全

(十一年十一月本省ヨリ地租改正局へ回答)

甲應ノ官員旅費支給方ノ發途中
三百七十丁

(十一年十一月本省ヨリ茨城縣へ指令)

甲應ノ官員旅費支給方ノ發途中
三百七十一丁

(十一年十二月乙八十號內務省達)

郡區吏員任免ノ際赴任或ハ歸
三百七十二丁

(十一年十二月本省稟裁)

官吏位記拜受ノ者歸國旅費支給
三百七十三丁

(十一年十二月本省ヨリ大分縣へ指令)

罪囚証人へ旅費支給ノ事
三百七十四丁

(十一年十二月本省ヨリ新潟縣へ指令)

御巡幸御先驅警備ノ爲乗馬ニ
三百七十五丁

第一章 酒類	一、啤酒	一〇一
	二、葡萄酒	一〇二
	三、釀酒	一〇三
	四、酒類	一〇四
第二章 酒類	一、酒類	一〇五
	二、酒類	一〇六
	三、酒類	一〇七
	四、酒類	一〇八
	五、酒類	一〇九
	六、酒類	一一〇
	七、酒類	一一一
	八、酒類	一一二
	九、酒類	一一三
	十、酒類	一一四

○ 酒 餽 料 之 部

（五十六年十二月十二日）

三大節 酒 餽 料 廢 止 事

三百七十七丁

目 ○ 酒

(五十六號)

三大

○ 附添人へ辨當料支給

(十一年一月検査局ヨリ島根縣へ回答)

証人事或ハ附添人へ辨當料支給

三百七十九丁

(十一年四月本省ヨリ大分縣へ指令)

諸規則附例當料ハニ給セサルノ事ス

三百八十丁

(十一年六月検査局ヨリ京都府へ回答)

官吏並爲入等者被免ノ後事
事務ノ爲メ呼出シ料支給場所へ
滞留日當支給セサル時場過キ
時派出ノ當支給セキ後辨當料
又ハ徹夜セシトキ辨當料支給
方ノ事

三百八十二丁

目 ○ 辨

- (十一年十月外務省ヨリ本省へ通達)
- (十一年十月外務省へ令達)
- (十一年稟裁七月)
- (十一年四月外務省へ令達)
- (十一年四月稟裁)
- (十一年稟一月)

館在 上海 領事館 建築費 增加ノ公使領事
 在 米 公 使 館 借 料 同 紙 幣 分 處 相
 場 上 公 使 館 定 額 超 過 セ 分 處 相
 分 事 務 領 事 官 費 用 條 例 中 公 館 交 際
 公 使 領 事 官 費 用 條 例 中 公 館 交 際
 務 及 ビ 公 館 現 場 ノ 代 用 支 給 方 際 事
 等 事 務 公 館 現 場 ノ 代 用 支 給 方 際 事
 在 海 外 各 館 經 費 勘 定 帳 精 理 方
 變 則 ヲ 設 ク ル 費 事 勘 定 帳 精 理 方
 公 使 領 事 館 十 一 年 度 經 費 被 定
 公 使 領 事 館 十 一 年 度 經 費 被 定
 公 使 領 事 館 十 一 年 度 經 費 被 定
 増 加 等 事 件 ヲ 併 セ テ 更 々 刊 行 正
 増 加 等 事 件 ヲ 併 セ テ 更 々 刊 行 正

(簿記ノ部ニアリ略之)

(卷中略之)

〇 公館定額之部

〇 公館定額之部

十一年十月外務省ヨリ本省へ通達

十一年十月外務省へ令達

十一年稟裁七月

十一年四月外務省へ令達

十一年四月稟裁

十一年稟一月

館在 上海 領事館 建築費 增加ノ公使領事 (卷中略之)

在 米 公 使 館 借 料 同 紙 幣 分 處 相

場 上 公 使 館 定 額 超 過 セ 分 處 相

分 事 務 領 事 官 費 用 條 例 中 公 館 交 際

公 使 領 事 官 費 用 條 例 中 公 館 交 際

務 及 ビ 公 館 現 場 ノ 代 用 支 給 方 際 事

等 事 務 公 館 現 場 ノ 代 用 支 給 方 際 事

在 海 外 各 館 經 費 勘 定 帳 精 理 方

變 則 ヲ 設 ク ル 費 事 勘 定 帳 精 理 方

公 使 領 事 館 十 一 年 度 經 費 被 定

公 使 領 事 館 十 一 年 度 經 費 被 定

公 使 領 事 館 十 一 年 度 經 費 被 定

増 加 等 事 件 ヲ 併 セ テ 更 々 刊 行 正

増 加 等 事 件 ヲ 併 セ テ 更 々 刊 行 正

二百八十九丁

二百八十八丁

二百八十七丁

二百八十六丁

二百八十五丁

目○海

務省一年令達外	外務省一年稟裁月	務省一年令達外	十一號年公達月	工部一年稟裁月	務省一年令達外	七號一年公達三月	
公使領事費用條例中改正加除	魯國浦潮港在勤貿易事務官年	公使領事正用追加等事領事年	英佛兩國郵便航費支給方員發外	議員支ト官派遣倫敦電信會	工部省員支ト官派遣倫敦電信會	項使領事費正用條例第廿條第二	月任及領事書記官轉任スル節
四百卅二丁	四百卅一丁	四百廿八丁	四百廿一丁	全	四百廿丁	四百十九丁	

○海外派遣之部

○公使領事	○領事	○領事	○領事	○領事	○領事	○領事	○領事
...

(十一年六月) 外務省稟裁

伊國未蘭領事年俸等ノ事

四百卅九丁

(十一年十月) 外務省ヨリ本省へ通達

公使領事費用併テ更ニ刊行

四百四十丁

(十一年十月) 本省ヨリ外務省へ回答

海外出張ノ節旅費支給方ノ事

四百六十五丁

○留學生之部

(十一年四月) 十一號公達

英佛兩國郵船便航乘組切手發行

(海外派遣ノ部ニアリ略之)

(十一年六月) 文部省稟裁

女子師範學校及幼稚園保育ヲ方

四百六十七丁

(十一年七月) 文部省稟裁

貸費留學生規則改定等ノ事

四百六十八丁

○貨幣之部	流通不便ノ金銀貨幣交換手續	四百七十七丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百七十八丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百七十九丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百八十丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百八十一丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百八十五丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	全

○貨幣之部	流通不便ノ金銀貨幣交換手續	四百七十七丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百七十八丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百七十九丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百八十丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百八十一丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百八十五丁
○貨幣之部	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	全

目○貨

十七年三月乙 十七號本省達	流通不便ノ金銀貨幣交換手續	四百七十七丁
十二年五月 十二號布告	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百七十八丁
十三年五月 十三號布告	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百七十九丁
十八年五月 十八號公達	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百八十丁
十一年七月甲 廿四號本省布達	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百八十一丁
十一年九月乙 十二號本省達	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	四百八十五丁
十一年十一月 卅五號布告	貿易銀ノ貨事自今一般ニ通用セ	全

(十五年十一月甲六) 貿易易壹圓銀幣再鑄發行ニ付内地
八民分ノリ造幣局へ輸入ノ銀地 四百八十六丁
金處分ノ事 幣局へ輸入ノ銀地 四百八十六丁
月迄幣延期ノ貨ト交換十二年十二全

(十八號本省布達) 四百八十一丁

(十三號本省布達) 四百八十一丁

(十二號本省布達) 四百八十一丁

(十一號本省布達) 四百八十一丁

(十號本省布達) 四百八十一丁

(九號本省布達) 四百八十一丁

(八號本省布達) 四百八十一丁

(七號本省布達) 四百八十一丁

(六號本省布達) 四百八十一丁

(五號本省布達) 四百八十一丁

(四號本省布達) 四百八十一丁

(三號本省布達) 四百八十一丁

(二號本省布達) 四百八十一丁

(一號本省布達) 四百八十一丁

〇紙幣之部

(一號本省一月甲) 第廿八國立銀行ニ於テ紙幣發 (卷中略之)

(十一年一月本省ヨリ府縣へ達) 官省札壹兩以下ノ分交換元金 四百八十九丁

(四號本省一月甲) 第卅二國立銀行ニ於テ紙幣發 (卷中略之)

(五號一年三月) 第卅三國立銀行ニ於テ紙幣發 (全上)

(七號本省三月甲) 第卅三國立銀行ニ於テ紙幣發 (全上)

(十號本省四月甲) 第廿九國立銀行全上 (全上)

(十九號本省四月乙) 官省札壹兩以下ノ分交換手續 四百九十丁

(十一年五月甲十) 第卅四國立銀行ニ於テ紙幣發 (卷中略之)

(五號本省布達) 第卅四國立銀行ニ於テ紙幣發 (卷中略之)

目〇紙

(十一年五月甲十) 六號本省布達	第卅六國立銀行ニ於テ紙幣發 (卷中略之)
(十一年五月甲十) 七號本省布達	第卅一國立銀行全上
(十一年五月甲十) 八號本省布達	第廿六國立銀行全上
(十一年五月甲) 廿號本省布達	第四十九國立銀行全上
(十一年六月乙) 廿六號本省布達	官省札壹兩以下ノ分交換延期 四百九十二丁
(十一年六月甲廿) 一號本省布達	第卅五國立銀行ニ於テ紙幣發 (卷中略之)
(十一年六月甲廿) 二號本省布達	第六十四國立銀行全上
(十一年六月乙) 卅四號本省布達	官省札交換ニ付遠隔ノ場所ヨ 四百九十二丁
(十一年七月甲) 十六號布告	新ニ銀行紙幣發行セシムルノ從 四百九十二丁
(十一年七月甲廿) 五號本省布達	第五十六國立銀行ニ於テ紙幣 (卷中略之)

(十一年九月甲廿) 九號本省布達	第七十四國立銀行全上
(十一年九月甲卅) 三號本省布達	第四十四國立銀行全上
(十一年十月) 卅一號布告	國立銀行條例第五十七條改正 (全上)
(十一年十月甲卅) 九號本省布達	第五十國立銀行ニ於テ紙幣發 (全上)
(十一年十月甲四) 十號本省布達	第百國立銀行全上
(十一年十月甲四) 十一號本省布達	第六十國立銀行全上
(十一年十月甲四) 十二號本省布達	第四十一國立銀行全上
(十一年十月甲四) 十三號本省布達	第四百國立銀行全上
(十一年十月甲四) 十四號本省布達	第四十國立銀行全上
(十一年十月甲四) 十五號本省布達	第卅九國立銀行全上

(十一年十月甲四) 十六號本省布達	第百廿國立銀行ニ於テ紙幣發 行セシムルノ事	(卷中略之)
(十一年十一月甲) 五十號本省布達	第一百一國立銀行全上	(全上)
(十一年十一月甲五) 十一號本省布達	第六十七國立銀行全上	(全上)
(十一年十一月甲五) 十二號本省布達	第一百十二國立銀行全上	(全上)
(十一年十一月甲五) 十三號本省布達	第七十二國立銀行全上	(全上)
(十一年十一月甲五) 十六號本省布達	第五十五國立銀行全上	(全上)
(十一年十一月甲五) 十七號本省布達	第五十一國立銀行全上	(全上)
(十一年十一月甲五) 十八號本省布達	第一百七國立銀行全上	(全上)
(十一年十一月甲五) 十九號本省布達	第五十四國立銀行全上	(全上)
(十一年十一月甲) 六十號本省布達	第八十三國立銀行全上	(全上)

(十一年十一月甲六) 十一號本省布達	第五十二國立銀行全上	(全上)
(十一年十一月甲六) 十四號本省布達	第卅八國立銀行全上	(全上)
(十一年十二月甲七) 十一號本省布達	第九十五第八十國立銀行全上	(全上)
(十一年十二月甲七) 十三號本省布達	第九十三第七卅七第六十八國立 銀行全上	(全上)
(十一年十二月甲七) 十四號本省布達	第六十二第七十九第一百十四國 立銀行全上	(全上)

Blank page with faint bleed-through text from the reverse side.

○證券之部

(六) 十一年二月乙 號本省達	新舊秩祿公債 調可差出等ノ スル九年度中一 切ノ事務ニ屬 四百九十五丁
(十一) 十一年四月本省ヨリ 新潟外廿六縣へ達	月金渡公債 假ニ仕拂置ク ノ事ヨリ 四百九十八丁
(七) 十一年四月 號布告	興業殖産等ノ 集セラレ事メ ノ事ヨリ募 四百九十九丁
(三) 十一年五月甲十 號本省布達	起ノ業公債 ルノ事 全
(三) 十一年七月甲廿 號本省布達	全條例第三條 五條中加除ノ 事 五百十四丁
(七) 十一年八月甲廿 號本省布達	金祿公債証書 利子札ノ事 五百十六丁
(廿) 十一年八月 號布告	新舊公債証書 第二條中改正ノ 事 五百十七丁

目 ○證

(廿五年九月布告)

被差免ノ債証書書入質入賣買等

(卷中略之)

(廿六年九月布告)

條金祿但公債証書追加發行條例中第二

五百十八丁

(十七年九月乙四)

正當ノ取置ク爲換公債預ケ金ノ改抵

五百十九丁

(十九年十月乙四)

金分公債証書賣見合期ニ屬中

五百廿丁

(十一年十月本省ヨリ新潟外廿七縣へ達)

一月祿公債証書利子金ノ内ヨ十

五百廿一丁

(五十四號本省達)

諸公債証書利賦札還納期限ヲ

五百廿二丁

(五十七號本省達)

利賦金籍寄留方等事携帶ノ他節

五百廿三丁

(六十號本省達)

及該証書並勸定帳書受取ノ方

五百廿四丁

(六十三號本省達)

抽送賃等ノ拂濟消印ノ公債証書

五百卅七丁

(十一年十一月乙六十四號本省達)

金祿公債証書買上ノ分送納方

五百卅八丁

(十一年五月) 內務省稟裁

宗像神社主典増員ノ事

五百四十五丁

(十一年五月) ヨリ熊本縣へ達

菊池神社費額ヲ一年一月ヨリ六月迄ノ經社費額ヲ一定ムルノ事

(卷中略之)

(十一年十月) 式部寮稟裁

春秋二季皇靈祭遙拜式費用等ノ事

五百四十六丁

○堤防營繕之部

(十一年一月) ヨリ青森縣へ回答

制札費ト揭示場修繕費ト區分等ノ事

五百四十九丁

(十一年二月) 六號內務省達

十年內務省乙第一百十二號達文中增加ノ事

五百五十丁

(十一年三月) ヨリ廣島縣へ指令

渡船場制札費及橋梁渡船賃表札費支場出方ノ事

全

(十一年四月) 務省へ令達

御陵墓事務宮內省へ屬セラレ減額ノ付事

(卷中略之)

(十一年九月) 十八號內務省達

堤上堤腹等ニ住居又ハ小屋掛ヲナスモ等仕用材料徵收及ヒ該料處分ノ事

五百五十二丁

(十一年十月) 十四號內務省達

河港道路整理期限ノ築費並營繕費勘定牒

五百五十二丁

(十一年十月) 務省へ令達

十一年被年度ノ府縣營繕費及ヒ堤防費

全

目 ○堤

(十一年十一月) 京都御所向修繕宮内省管理相 (卷中略之)
 (十一年十二月) 本省へ合達 繕費ノ内減額ノ事ヨリ府縣營
 墓一ノ年スル分減額ノ事ノ内御陵 (全上)

○救恤 附手當之部

(十一年一月本省ヨリ山形縣へ指令) 出方ノ官以下事務勉勵手當金支
 (十一年一月) 内務省稟裁 虎列刺病外行人ニ付治療等ニ勉
 (十一年二月乙十) 三號内務省達 及ヒ該病豫取方ノ常臨時費決算
 (十一年二月乙十) 七號内務省達 ル死傷ハ扶助料等給セサルノ際スシ
 (十一年三月内務省ヨリ三重縣へ指令) 罹災窮困ノ者へ焚出米給與方
 (十一年五月) 内務省稟裁 懲役人驅使中支給方ノ事免後
 (十一年五月本省ヨリ宮城縣へ指令) 其他病支療ヲ方及ル者派出醫員ノ藥外價
 五百五十五丁 (備外國人ノ部ニアリ略之)
 五百五十五丁
 五百五十六丁
 五百五十七丁
 四百八ノ部ニアリ略之
 五百五十八丁

（十一年五月十六號使府縣へ公達）	給惡病ノ流行ノ節備醫ノ手當等支	五百五十九丁
（十一年六月檢査局ヨリ福島縣へ回答）	ヲ病流出シノ際公立病院ノ醫支	五百六十丁
（十一年六月乙卅四號本省達）	官省札ノ交換ニ付遠隔ノ場所ニ	（紙幣ノ部ニアリ略之）
（十一年七月檢査局ヨリ青森縣へ回答）	方ノ出スル區戶長手當支給	五百六十一丁
（十一年七月内務省ヨリ本省へ回答）	計算方ノ及後數年ヲ經テ養育	五百六十二丁
（十一年八月卅六號開拓使並沿海府縣へ公達）	米願出シ分等該米相場立方ノ育	五百六十三丁
（十一年九月乙十五號内務省達）	朝鮮國漂難船處分心得書追加	五百六十四丁
（十一年十月卅二號布告）	虎列刺病流行ノ節豫防救治ニ	五百六十五丁
（十一年十一月内務省ヨリ埼玉縣へ指令）	内國船難破及漂流物取扱規則	五百六十六丁
（十一年十二月乙八十七號内務省達）	支拂方ノ所携ノ乳兒養育ノ費用	五百六十七丁

○貸與之部

（十一年五月乙廿一號本省達）	利割ノ稱呼ヲ定ムルノ事	（雜則ノ部ニアリ略之）
（十一年五月乙廿三號本省達）	石高割並宮方舊債主下金勸	五百六十九丁
（十一年八月乙四十號本省達）	決定シ其廳へ返納申立ル節處分	（簿記ノ部ニアリ略之）
（十一年八月本省ヨリ官院省へ通達）	度於テ濟收支額中計事諸上ノ金	（全）
（十一年十一月乙六十一號本省達）	諸貸下金取立年限中負債主逃	（全）

目○貸

○褒賞之部

(十一年一月乙六號) 內務省達 虎列刺病流行ノ節豫防救治ノ爲メ拔群勵精ノ者賞與方ノ事 五百八十二丁

(十一年二月本省ヨリ山梨縣へ指令) 判任官以下勉勵賞賜金仕拂方ノ事 五百八十三丁

(十一年三月內務省ヨリ椽木縣へ指令) 窮民救助セシ爲メ無利足ノ事以テ金員貸與セシ者賞與方ノ事 五百八十四丁

(十一年四月十三號) 官院省へ公達 一般人民ヨリ圖書ノ器物等獻納ノ節賞與取扱方ノ事 五百八十五丁

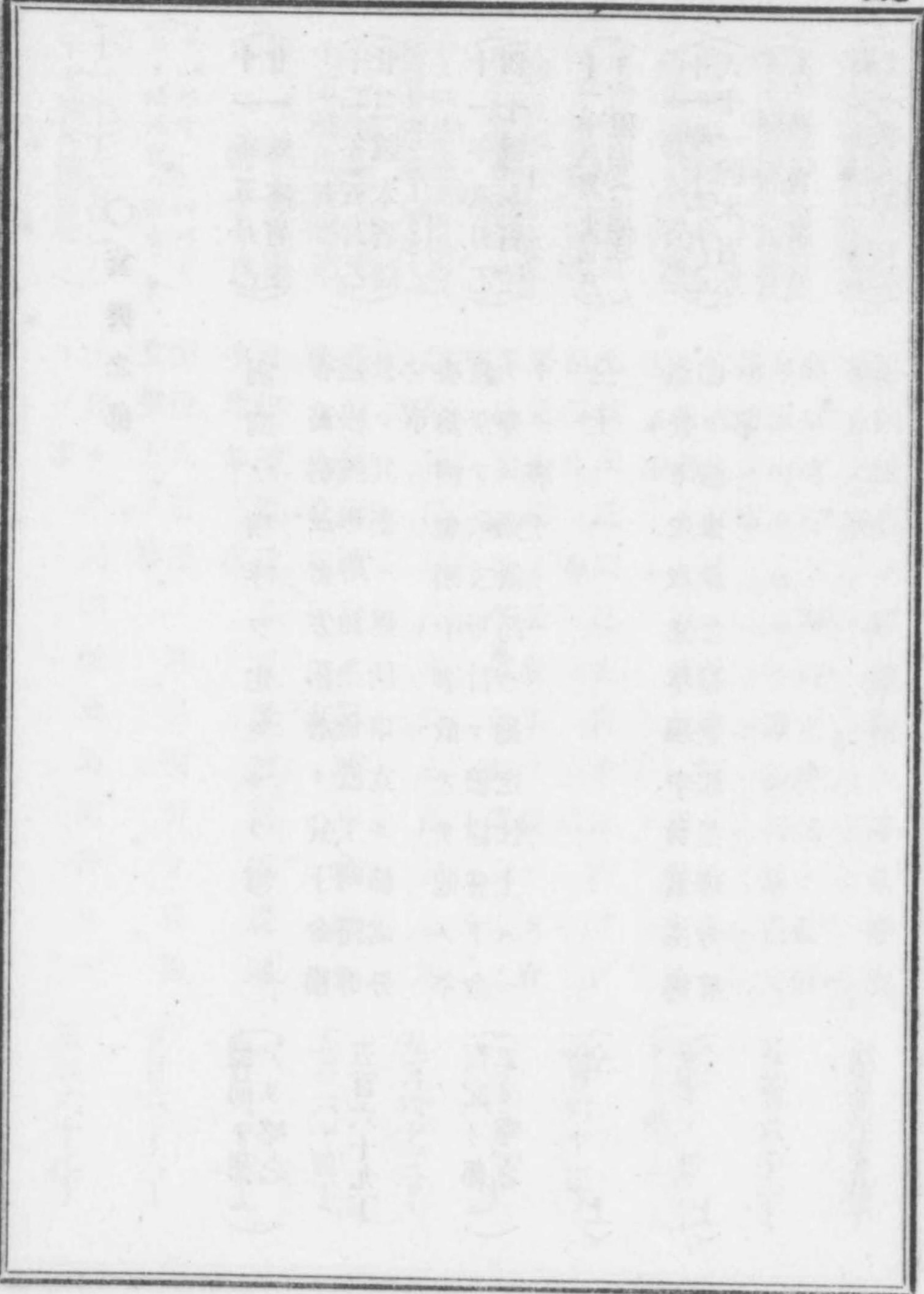
(十一年五月廿號) 公達 舊方ノ事并府縣官員へ恩賜金支出方ノ事 (費目ノ部ニアリ略之) 五百八十五丁

(十一年六月本省ヨリ開拓使へ通達) 勳等ノ年金渡方手續概則第十款追加ノ事 五百八十五丁

(十一年六月) 內務省稟裁 內國勸業博覽會出品運輸賃減價ヲ以テ相勤メシ者へ賞與方ノ事 五百八十六丁

(十一年七月警視局ヨリ檢査局へ回答) 巡査願モ歸郷ノ途ノ事 八百八十八丁

目 ○褒



○褒賞之部

十一 年一月 乙六號 內務省 達	虎列刺 病流行 勸精ノ 者賞與 方治ノ 事	五百八十二丁
十一 年二月 本省ヨ リ山梨 縣へ指 令	判任官 以下勉 勵賞賜 金仕拂 方	五百八十三丁
十一 年三月 內務省 ヨリ椽 木縣へ 指令	窮民救 助セシ 爲メ無 利方ノ 事以テ	五百八十四丁
十一 年四月 十三號 官院省 へ公達	一般節 賞與ヨ リ圖書 ノ諸器 物等獻	五百八十五丁
十一 年五月 廿號公 達	舊方ノ 事并府 縣官員 へ恩賜 金支	(費目ノ部ニ アリ略之)
十一 年六月 本省ヨ リ開拓 使へ通 達	勳等ノ 年金渡 方手續 概則第 十款	五百八十五丁
十一 年六月 內務省 稟裁	內國勸 業博覽 會出品 運輸賃 減	五百八十六丁
十一 年七月 警視局 ヨリ檢 査局へ 回答	巡査願 濟ノ歸 郷ノ途 中事犯 八ヲ捕	五百八十八丁

目 ○褒

(十一年八月卅五) 府縣官任期例ノ内賞與方ノ事 五百八十八丁
 (十一年九月本省ヨリ開拓使へ通達) 勳等年金渡方手續概則第七款 五百九十丁
 (十一年十月乙六) 警部巡査等事務勉勵賞賜金ハ各府縣警察額内費ヨリ支辨スハ 五百九十二丁
 (十一年十一月乙七) 郡區長及書記勉勵賞與方ノ事 全
 (十一年十二月五十) 戸長職務ニ勉勵スル者賞與方ノ事 五百九十二丁
 (三號府縣へ公達)

〇囚人附脱籍之部

(十一年一月檢査局ヨリ警視局へ通達) 已決ノ囚就學ニ付書籍買上費支 五百九十五丁
 (十一年二月本省ヨリ島根縣へ指令) 諸規則附勤定帳編製法ノ部 五百九十六丁
 (十一年三月内務省ヨリ三重縣へ指令) 費用官費仕拂ノ毎季差引精 全
 (十一年三月内務省ヨリ宮城縣へ指令) 囚人護送ノ巡査旅費支給方ノ事 全
 (十一年三月檢査局ヨリ警視局へ回答) 某家主留ノ者犯罪ノ嫌疑ニテ該家主へ責付スル節賄料ノ事 五百九十八丁
 (十一年四月乙州二號内務省達) 宮城縣役囚へ冬季足袋ヲ給與 全
 (十一年三月檢査局ヨリ警視局へ回答) 囚獄懲役ヲ設クルセ更ニ監獄費ノ科目ヲ合セ事ニ 費目ノ部ニアリ略之
 (十一年四月乙州二號内務省達) 脱籍無産ノ輩復籍宿村ノ儀 五百九十九丁

(十一年四月檢査局ヨリ警視局へ回答) 已決囚就學ニ付雇入ル、教師 六百丁

(十一年五月内務省稟裁) 懲役人驅使中負傷ノ者放免後 六百一丁

(十一年六月本省稟裁) 監獄ノ則中一等役囚へ日給錢給 全

(十一年七月乙州八號内務大藏兩省達) 懲任人滿期付與金給與方及勘 六百三丁

(十一年九月警視局ヨリ群馬縣へ回答) 軍人軍屬脱走ノ者護送諸費仕 六百四丁

(十一年十一月内務省ヨリ埼玉縣へ指令) 懲役人ノ所携ノ乳兒養育ノ費用 (救恤ノ部ニ) 六百五丁

(十一年十一月乙六十號内務大藏兩省達) 元府縣預禁錮人賄費ハ囚人給 六百五丁

(十一年十二月五十五號使府縣へ公達) 明治四年六月達行旅病人取扱 役場ト改正ノ中地方官應ヲ戸長 (卷中略之) 六百六丁

(十一年十二月丙六十一號内務省達) 禁獄囚へ食糧被服等給與方ノ 六百六丁

○ 雜則之部

(十一年一月乙二號内務省達) 内國勸業博覽會自費出品人へ 六百九丁

(十一年一月二號公達) 出納ノ實况檢査ノ爲大藏省官 六百十丁

(十一年二月乙十一號本省達) 八年六月以前ニ係ル出納鎖閉 六百十五丁

(十一年二月本省ヨリ院省使へ通達) 全上 全

(十一年三月甲四號内務省布達) 部分分配仕付條例中成木ノ分官 六百十六丁

(十一年四月本省ヨリ官院省局へ通達) 納付金ノ内譯ニ區分記載スヘキ (簿記ノ部ニ) 六百十八丁

(十一年五月乙廿一號本省達) 利割ノ稱呼ヲ定ムルノ事 六百十八丁

(十一年五月乙廿二號本省達) 八年度所屬ノ出納鎖閉期限等 六百十九丁

目 ○ 雜

(十一年五月本省ヨリ官院省使局へ通達) 八年度所屬ノ出納鎖閉期限等 六百十九丁

(廿一年七月廿八號公達) 九州地方賊徒征討費支出鎖閉 六百廿丁

(十一年七月卅四號公達) 出納鎖閉期限ノ事 全

(十一年九月乙五十八號內務省達) 堤上堤腹等ニ住居又ハ小屋掛等ヲナスモノ、仕用料徴收方ノ事 (堤防營繕ノ部ニアリ略之)

(十一年九月乙四十七號本省達) 各廳ヨリ爲換方へ預ケ金ノ抵當ニ取置ク爲公債証書價格改 (証券ノ部ニアリ略之)

(十一年十月乙六十二號內務省達) 各地方揭示場不用ノ分拂下代 六百廿二丁

(十一年十一月本省ヨリ省院使局へ通達) 九年度所屬ノ出納鎖閉期限ノ事 六百廿三丁

(十一年十一月乙五十三號本省達) 全上 全

(十一年十二月乙八十四號內務省達) 地方稅ノ取扱フ爲換方ノ給料 六百廿四丁

(十一年十二月內務省稟裁) 商會社創立ニ付該社永續ノ爲メ保護金下附ノ事 六百廿五丁

(十一年十二月乙六十八號本省達) 歲入出豫算ノ金額納拂期限取調書差出方ノ事 六百廿六丁

(十一年十二月乙七十號本省達) 爲換方廢置ノ節給料支給方ノ事 六百卅一丁

六十八	本署	...	六百廿六丁
六十九	六百廿七丁
七十	六百廿八丁
七十一	六百廿九丁
七十二	六百三十丁
七十三	六百三十一丁
七十四	六百三十二丁
七十五	六百三十三丁
七十六	六百三十四丁
七十七	六百三十五丁
七十八	六百三十六丁
七十九	六百三十七丁
八十	六百三十八丁
八十一	六百三十九丁
八十二	六百四十丁
八十三	六百四十一丁
八十四	六百四十二丁
八十五	六百四十三丁
八十六	六百四十四丁
八十七	六百四十五丁
八十八	六百四十六丁
八十九	六百四十七丁
九十	六百四十八丁
九十一	六百四十九丁
九十二	六百五十丁
九十三	六百五十一丁
九十四	六百五十二丁
九十五	六百五十三丁
九十六	六百五十四丁
九十七	六百五十五丁
九十八	六百五十六丁
九十九	六百五十七丁
一百	六百五十八丁

出納例規類纂 明治十一年

○官省定額之部

○十一年二月廿日刑法草案審査局へ令達 本省へ令達 文略之

(金額略之)

右ハ本年一月ヨリ同六月迄其局定額常費前書ノ通相定
ムル條精十費用節制致シ此上増費ヲ要セサル様取計フ
ヘシ

○刑法案審査局十一年度經費金被定ノ儀十一年七月卅日同局稟裁

○十一年三月七日内務省稟裁 本省略之令

(稟)脚氣ノ慘毒恐怖スヘキハ世人ノ通知スル所云々今日該病ノ治療ニ於ケル一モ適從スル所ナキカ如シ目今衛生ノ道ニ於テ厚ク御誘導在セラル、ノ時ニ際シ之カ療法ヲ窮明シテ救濟ノ道ヲ設クルハ最緊要不可忽云々依テ金壹萬圓宛向五ヶ年間并本年病院建設費八千圓ヲ東京府廳ニ委托シ不足ノ分ハ府税等ノ内ヨリ之ヲ補充シ以テ一場ノ脚氣病院ヲ設立セシムルニ付右金員別途御下付相成度 二月 廿

(裁)伺ノ趣聞届クル條金額大藏省ヨリ受取ルヘシ
○東京府下脚氣病院破損所修繕費若干圓内務省十一年度經費へ増加及ヒ該病院費同年度以降五ヶ年間

金壹萬三千九百七拾圓宛増加ノ儀十一年九月十二日内務省稟裁アリ略之

○十一年三月廿二日本省へ令達

今般地方官會議開設ニ付經費金三萬圓ヲ用途トシ會議御用掛ヨリ照會次第渡方取計フヘシ但追テ精算帳同掛ヨリ相廻スヘシ

○十一年四月十八日 内務省へ令達 本省略之令

宮内省

(金額略之)

明治十一年三月ヨリ

御陵墓事務其省へ屬セラレシニ付書面ノ金額其省本年
度經費中へ増額ス

内務省

十年度其省定額金ノ内

(金額略之)

全府縣營繕費ノ内

(金額略之)

右今般御陵墓事務宮内省へ屬セラレシニ付書面ノ通減
額ス

○十一年五月七日本省へ令達

別紙内務省伺山林作業費ノ儀云々金額受渡取計フヘシ

別紙

(稟)山林繁殖ハ云々壯樹ヲ護シ老樹ヲ洗シ新樹ヲ殖スル
ニアリ然レモ三者ノ舉行皆資金ヲ需メサルヘカラス依
テ木曾秋田青森門楯山四ヶ所ニ於テ年來伐採貯蓄スル
木材ヲ發賣シ右代金一旦大藏省へ納付セシ上來ル十一
年度ヨリ金拾萬圓ヲ別途ニ御渡シ相成作業費ノ法ヲ以
テ五ヶ年ヲ限リ之ヲ運シ云々後五ヶ年ニ至リ經歷ノ實
驗ニ據リ更ニ見込ヲ立之ヲ稟議セントス云々四月廿
(裁)伺ノ趣聽許ス

○十一年五月卅一日本省へ令達
 諸官員其他賜金等支出方ノ儀別紙第廿號(費目ノ部)ノ通
 相達セシ處非役ノ者へ可下賜金額ハ太政官十年度經費
 豫算中組込無之ニ付其時々額外常費トシテ相渡十一年
 度ヨリハ經費中ニ組込可申尤本件ニ屬スル金額ハ既ニ
 差出セル豫算外ニ相定ムル儀ト心得ヘシ

○十一年七月卅日刑法草案審査局稟裁

(稟)當局十一年度經費ノ儀云々前年度ノ殘金返納更ニ金
 三千圓ヲ要シ局務完結ノ見込ニ付右金額御渡有之度云

六月廿

(裁)上申ノ趣聞届クル條經費豫算内譯明細簿早々大藏省
 へ差出スヘシ

○十一年八月三日御巡幸御用掛へ令達

北陸東海兩道御巡幸諸費各廳申牒ニ基キ參酌ノ上別紙
 ノ通相定ムル條諸事該額内ヲ以テ辨給シ此上増額等要
 請無之様注意スヘシ(別紙之金)
 ○御巡幸供奉陸軍士官以下ノ費用御巡幸費へ組入
 之費ヨリ支出ノ儀十一年八月六日陸軍省稟裁アリ略

○官

○十一年九月三日本省へ令達
 今般開拓使管下札幌へ裁判所ヲ置カレシニ付同使及ヒ
 司法省へ別紙ノ通相達スル條該事務ニ關係ノ費用自今
 開拓使ヨリ受取更ニ司法省へ渡方取計フヘシ
 別紙
 司法省
 開拓使管下札幌へ裁判所ヲ被置條從前同使ニ於テ取扱
 ヒシ裁判及ヒ檢事々務并函館裁判所ニ屬スル檢事々務
 共一切同使ヨリ引受方取計フヘシ但該事務ニ關係ノ費
 用自今同使ヨリ大藏省へ納付ノ筈ニ付同省ヨリ受取ル
 ヘシ
 開拓使

其使管下札幌へ裁判所ヲ被置條從前其使ニ於テ取扱ヒ
 シ裁判及ヒ檢事々務并函館裁判所ニ屬スル檢事々務共
 一切司法省へ引繼方取計フヘシ但該事務ニ關係ノ費用
 ハ自今大藏省へ納付スヘシ

○十一年十月十六日太政官へ令達

(金額略之)

内

(金額略之)

(全)

地方官會議院諸費
 曾テ奏任以上ノ官ニ被任現時非
 役ノ輩死亡ノ節追賞金祭料
 右二項ハ實際仕拂ニ至リ剩餘相生スル共他ノ諸費へ

流融ヲ許サス

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其官經費書面ノ通

相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ

〇一源船大幸丸仲裁一加ノ儀一議官七月四日與本省太政官達十

〇澳國博覽會事務官其外二賜日本省官一達一略之費

〇陸軍中尉某外一年八月廿七日與日本省官一達一略之費

〇舊大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇高知縣士族元熊加本年九月四日與本省官一達一略之費

〇一高知縣士族元熊加本年九月四日與本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇大藏少丞某外一年六月廿七日與日本省官一達一略之費

〇官

〇山元長崎士族某等縣士族二元并大分縣御掛某某外六年

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

〇名賞三與本太省官一達一略之費

○十一月十六日外務省へ令達
 (金額略之)
 (全) 外國公使領事館
 十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其省及ヒ外國公使領事館經費書面ノ通相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致

○十一月十六日外務省へ令達
 (金額略之)
 (全) 外國公使領事館
 十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其省及ヒ外國公使領事館經費書面ノ通相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致

○官

(金額略之) 驛遞局 警視局 (全) 内 (全) (金額畧之)

相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ
十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其省經費書面ノ通
宮城縣下監獄設置費
監獄營繕等ノ諸費
(全) (全)

東(内務省勸商ノ事務大藏省へ被付略之十一) 一年
東京府下増脚加氣ノ病院破一損所九修月十二日同省稟裁アリ年
經費
度府増脚加氣ノ病院破一損所九修月十二日同省稟裁アリ年
略之

東(内務省勸商ノ事務大藏省へ被付略之十一) 一年
東京府下増脚加氣ノ病院破一損所九修月十二日同省稟裁アリ年
經費
度府増脚加氣ノ病院破一損所九修月十二日同省稟裁アリ年
略之

鹿兒島縣増出ノ儀ノ十一年歸京月廿九日内務省稟裁アリ年
鹿兒島縣増出ノ儀ノ十一年歸京月廿九日内務省稟裁アリ年
他諸兵暴動ノ事十一年歸京月廿九日内務省稟裁アリ年
加兒島縣増出ノ儀ノ十一年歸京月廿九日内務省稟裁アリ年
儀十一年歸京月廿九日内務省稟裁アリ年
佛國省一號ノ船二日內務省稟裁アリ年
千内務省一號ノ船二日內務省稟裁アリ年
六日內務省一號ノ船二日內務省稟裁アリ年
鹿兒島縣増出ノ儀ノ十一年歸京月廿九日内務省稟裁アリ年
之増島郵便局爲年換金二官損ノ分日内務省稟裁アリ年
青森縣下八戶郵便局爲年換金二官損ノ分日内務省稟裁アリ年
度森縣下八戶郵便局爲年換金二官損ノ分日内務省稟裁アリ年
ア略之増加ノ儀ノ十一年歸京月廿九日内務省稟裁アリ年
三節酒餼料年止二月廿五日第五十六號公達額取調
可申出旨十一年歸京月廿九日内務省稟裁アリ年

○官

○十一年十月十六日日本省へ令達

(金額略之)

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其省經費書面ノ通
相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ

(内務省勸商ノ事務大藏省へ被付旨之十一)

○長崎稅關監吏補某外四十一名へ賞與金大藏省十一
年度經費へ増加ノ儀十一月廿七日全省稟裁

○三ノ大節酒饌料廢止二月廿五日第中右ノ分減額取調
可申出旨十一月十二日陸軍省へ令達

○十一年十月十六日陸軍省へ令達
(金額略之)

(金額略之)

通常費

内

○官

(金額略之)

(金額略之)

砲兵廠經費

稅外收入額一旦納付ノ上交付スヘキ高

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其省經費書面ノ通
相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ但砲兵廠經費
ノ分ハ興業費營業費及ヒ通常費區分等早々大藏省ヘ申
出ヘシ

〇砲兵廠經費ハ十一年度以十月十七日陸軍省ヘ令達シ處辨

費目ノ部ニ掲出ス

〇參謀本部儀置カシテ十月十二日該費額陸軍省ヘ令達アリ

之增加ノ儀置カシテ十月十二日該費額陸軍省ヘ令達アリ

〇三節酒饌料廢止ニ付廿五日第一號分公達額取調

〇大出旨十一年二月廿五日第一號分公達額取調

〇砲兵廠經費ハ十一年度以十月十七日陸軍省ヘ令達シ處辨

十一年度ニ無儀之ハ該廠業務規程ヲ施行難定額付

中組入兵器及彈藥買上費ノ科目ヲ豫算簿
リヘ之入スル等ノ儀十一年度二月廿七日日本省上豫算簿

〇十一年十月十六日海軍省ヘ令達

(金額略之)

内

(金額略之)

通常費

(全)

興業費

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其省經費書面ノ通
相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ

○三大節酒饌料廢止ニ付廿五日第中右ノ分減額取調
可申出旨十一月十二月廿五日第中右ノ分減額取調

○十一年十月十六日文部省へ令達

(金額略之)

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其省經費書面ノ通

相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ

○三大節酒饌料廢止ニ付廿五日第中右ノ分減額取調
可申出旨十一月十二月廿五日第中右ノ分減額取調

○十一年十月十六日工部省へ令達

(金額略之)

内

(金額略之)

通常費

(全)

興業費

○官

(全)

營業資本ノ欠額補填

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其省經費書面ノ通相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ

○英國議員リト氏渡來ノ節增加ノ儀十一月九日三

○日同省へ令達アリ略之一年度經費ヘ増加ノ儀十一

○年九月廿日日本省へ令達アリ略之年度經費ヘ増加ノ儀十一

○三大出酒十料一年十二月廿五日第五十六號公達取調

○十一年十月十六日司法省へ令達

(金額略之)

内

(金額略之)

通常費

(全)

熊本裁判所建築費

(全)

九州臨時裁判所殘務諸費

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其省經費書面ノ通相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ

○西南騷擾ノ際有功ノ外吏十二月十八日同省稟裁一

○三大出酒十料一年十二月廿五日第五十六號公達取調

○官

○十一年十月十六日宮内省へ令達

(金額略之)

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其省經費書面ノ通相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ

○十一年十月帝室御用度及皇族賄料等ノ費額被定ノ儀
○十一年十月修繕宮内省管理ノ相成シニ付右ノ費用九十
○京都御所ヨリ同省經費へ増加ノ儀
○十一年十一月十

○日本省へ令達アリ略之
○三十大節酒饌料一年十二月廿五日第五十六號公達取調
○可申出旨十月一年十二月廿五日第五十六號公達取調

○十一年十月十六日元老院へ令達

(金額略之)

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年經費書面ノ通相定

ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ
○三大節酒饌料一年十二月廿五日第五十六號公達取調
○可申出旨十月一年十二月廿五日第五十六號公達取調

○官

○十一年十月十六日開拓使へ令達

(金額略之)

内

(金額略之)

定額

(全)

諸收入一旦納付ノ上交付スヘキ分

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其使經費書面ノ通

相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ

○三大節酒餽料廢止ニ付廿五日第百五十六號公達額取調

○十一年十月十六日地租改正局へ令達

(金額略之)

内

(金額略之)

通常費

(全)

地租改正費

但改正費決算ノ上証印後ニテ不足ノ節支出スヘキ分

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年其局經費書面ノ通

相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ

○三大節酒餽料廢止ニ付廿五日第百五十六號公達額取調

○官

〇十一年十月十六日宮内省へ令達

(金額略之)

帝室御用度及皇族賄料

但建宮御賄料本年十月以降ノ金額除之

内

(金額略之)

帝室費臨時増加

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年支出ノ員額書面ノ

通相定ムル條右ヲ以渾テ取賄フ様致スヘシ

〇三品親ノ王敬仁尊五十日御祭典濟ニ付帝室ニ十一年旨御用度ノ内建宮御賄料ノ御分十月以降渡方ニ十一年旨

〇十一年九月廿日宮内省上申アリ略之
 〇儀十一年御座所新築費帝室十一年御用度へ増加ノ
 〇皇居内御座所新築費増額廿八日宮内省一年裁ア御用
 〇之増加ノ儀十一年新築費増額廿八日宮内省一年裁ア御用
 〇三品親ノ王敬仁尊五十日御祭典濟ニ付帝室ニ十一年旨御
 〇増加ノ儀十一年新築費増額廿八日宮内省一年裁ア御用略之へ

〇十一年十二月廿五日第五十六號公達

紀元節天長節新年宴會酒饌料賜方ノ儀自今廢止ス但十

〇官

一年度定額中本文ノ經費減額取調大藏省へ申出へシ

Table with multiple columns and rows of faint text, likely a ledger or account book.

○十一年十二月廿八日内務省へ令達

(金額略之) 通常經費

(金額略之) 内

(金額略之) 本省并各局經費

○十一 (金額略之) 木驛遞局經費

(金額略之) 興業費

(全) 資本欠額補填

(全) 資本原額

其省明治十年度通常經費及ヒ作業費書面ノ通相定ムル

○官

條此旨更ニ相達ス

(全) 資本原額

(全) 資本欠額補填

(金額略之) 興業費

○十一年(十二月廿八日)本省(令)達

(金額略之) 通常經費

(全) 興業費

(全) 資本原額

其省明治十年度通常經費及作業費書面ノ通相定ムル條
此旨更ニ相達ス

○十一年十二月廿八日工部省(令)達

(金額略之) 通常經費

(全) 興業費

(全) 資本欠額補填

(全) 資本原額

内

(金額略之) 倉庫資本原額

其省明治十年度通常經費及作業費書面ノ通相定ムル
條此旨更ニ相達ス

出納規類纂 明治十一年
 沿革例規類纂 明治十一年
 ○十一一年二月八日府縣へ令達 鹿兒島縣
 十年度自十一年六月經費ノ儀先般大藏省ヨリ相達セシ
 假定金額ノ通確定スル條該金額ヲ以テ一歲中ノ諸費悉
 皆弁給シ増費ヲ要セサル様致スヘシ但收入金ノ儀ハ申
 牒ノ額ヲ以テ歲入豫算へ編入ス
 本一文一週ノ廢合及額決定ノ後増減ノ件アルト
 係モ地方ノ其他一般ニ涉ル件ノ外ハ總テ略之
 ○十一一年三月六日內務省へ減令達 府縣警察之費へ増
 加ノ儀十一年度三月六日內務省へ減令達 府縣警察之費へ増

出納規類纂 明治十一年

○府縣定額之部

○十一一年二月八日府縣へ令達 鹿兒島縣
 十年度自十一年六月經費ノ儀先般大藏省ヨリ相達セシ
 假定金額ノ通確定スル條該金額ヲ以テ一歲中ノ諸費悉
 皆弁給シ増費ヲ要セサル様致スヘシ但收入金ノ儀ハ申
 牒ノ額ヲ以テ歲入豫算へ編入ス
 本一文一週ノ廢合及額決定ノ後増減ノ件アルト
 係モ地方ノ其他一般ニ涉ル件ノ外ハ總テ略之
 ○十一一年三月六日內務省へ減令達 府縣警察之費へ増

○加福島縣十一年度三月六日內務省へ減令達 府縣警察之費へ増

○府

○伊豆國七島一東京府四月所管日本省ヨリ付同府へ十年経略
 増加ノ儀十一年四月所管日本省ヨリ付同府へ十年経略
 兵庫縣洲本支應止付同縣年度經費減額之
 儀十一年四月所管日本省ヨリ付同縣年度經費減額之
 福島縣小倉十一年四月所管日本省ヨリ付同縣年度經費減額之
 減額略之儀十一年四月所管日本省ヨリ付同縣年度經費減額之
 アリ略之儀十一年四月所管日本省ヨリ付同縣年度經費減額之
 伊豆國七島一東京府四月所管日本省ヨリ付同縣年度經費減額之
 費減額ノ儀十一年四月所管日本省ヨリ付同縣年度經費減額之
 熊木縣內牧支應日新設省ヨリ付同縣年度經費增加ノ儀
 十一年四月所管日本省ヨリ付同縣年度經費增加ノ儀
 福島縣若松支應日新設省ヨリ付同縣年度經費增加ノ儀
 儀十一年四月所管日本省ヨリ付同縣年度經費增加ノ儀
 鹿兒島縣十一年四月所管日本省ヨリ付同縣年度經費增加ノ儀
 同縣十一年四月所管日本省ヨリ付同縣年度經費增加ノ儀

○十一年三月十一日大内務省ヨリ石川縣へ指令
 (同)十年度經費ノ内判任官月給額ノ儀云々九年一月一日
 ノ人口高ヲ以テ御決定相成リシ處十年一月一日ノ人口
 高九年分ヨリ増加シ判任官一名増員ノ筋ニ付右不足金
 定額常費判任官月給増額トシテ更ニ御下付相成度十二年
 八月廿日
 (指令)人口高ハ年々多少増減有之共當初相定メシ判任月
 給額ハ増減スヘカラサル儀ニ付聞届ケ難シ
 ○十一年五月十日本省ヨリ神奈川縣へ指令
 (同)徴兵検査場借受シ節宿代ノ儀云々該場ハ検査ノ節多

○府

人數入込疊建具等ノ汚損ノミナラス前日徴兵使見分迄
 〃悉皆器械備付置檢査終レハ午後五時過ニ相成即日場
 所取片付不行届旁檢査日ノ外前後兩日相用ユル場合
 付右前後二日分増手當トシテ一日金五拾錢ツ、支給相
 成度二日
 (指令)同ノ趣無餘儀次第ニ付聞届ル條金額取調更ニ受取
 方申出ヘシ

〇十一年五月廿七日乙第四十四號内務省達
 衛生事務取扱ノ儀自今擔當吏員ヲ撰定シ其官等姓名人
 員届出ツヘシ追テ爾後任免増減ノ節モ可届出且衛生ノ

事項ニ就テハ衛生局ヨリ直ニ該吏員ニ往復スル儀モ之
 レアルヘシ
 〇衛生事務取扱吏員ハ各府縣定員ノ内ヲ以練合擔當
 リスヘキ旨十一月六日乙第四十九號内務省達
 〇十一年七月廿二日第十七號布告 錄抄
 郡區町村編制法左ノ通定メラル

〇第五條 每郡ニ郡長各一員ヲ置キ每區ニ區長各一
 員ヲ置ク郡ノ狭少ナルモノハ數郡ニ一員ヲ置クヲ
 得〇第六條 每町村ニ戶長各一員ヲ置ク又數町村ニ
 一員ヲ置クヲ得但區内ノ町村ハ區長ヲ以テ戶長ノ

〇府

事務ヲ兼ヌルヲ得
○二郡區長書記等級定員等ノ儀十一年七月廿五日第卅

○十一年七月廿五日第卅二號府縣へ公達

八年十一月第二三號達府縣職制並事務章程(之略)ヲ廢シ府

縣官職制別冊ノ通定メラル

府縣官職制錄抄

○府知事一人○縣令一人○大書記官少書記官各府ハ大員ヲ少
置ルキ縣ハ大少依リ府ト同ク各一員ヲ置ク縣事務繁劇○屬

一 等 警 部 一 等 至 十 郡 長 八 等 一 人 郡 書 記
七 等 至 十 定 員 ナ シ 市 街 ノ 地 置 所 ノ 區 長 并 書
記 ハ 總 テ 郡 長 郡 書 記 ニ 同 シ

○十一年十月九日鹿兒島縣へ令達

其縣十年度經費豫算額別紙ノ通相定ムル條實際仕拂高
ト差引相立最前大藏省ヨリ概計ヲ以テ交付セシ金額ノ
内殘餘アラハ返納取計フヘシ但豫算額内譯詳細ノ儀ハ
大藏省ヨリ相達スヘシ(別紙之金)

○府

大○鹿兒島縣十年十月十二日豫算確定ニ付右金額内譯書之等
 ○十一月十日府縣令達
 ○十一月十五日府縣令達
 十一年七月ヨリ十二年六月ニ至ル一周歲費額ノ備別紙
 ノ通相定ムル條該額ヲ以テ一歲中ノ諸費悉皆之ヲ辨給
 シ増費ヲ要セサル様注意スヘシ但詳細ノ儀ハ大藏卿ヨ
 リ相達スヘク尤收入金ハ申牒ノ額ヲ以テ歲入豫算ニ編
 入ス(別紙之金)

○本地方ノ一週歲ノ費額被定ノ後増減ノ件アルトモ
 ○十一年度府縣豫算額内譯書ノ儀十一月廿二日
 ○本省ヨリ府縣ヘ達アリ略之
 ○三大節酒饌料廢止ニ付經費定額中右ノ分減額取調
 ○可申出旨十一月廿五日第五十六號公達

○府

○十一月十五日
 ○十一月十六日
 ○十一月十七日
 ○十一月十八日
 ○十一月十九日
 ○十一月二十日
 ○十一月二十一日
 ○十一月二十二日
 ○十一月二十三日
 ○十一月二十四日
 ○十一月二十五日
 ○十一月二十六日
 ○十一月二十七日
 ○十一月二十八日
 ○十一月二十九日
 ○十一月三十日

○十一月十六日 内務省へ令達 録抄

(金額略之) 警察費

(金額略之)

鹿兒島縣警視出張ニ屬スル分 警察官歸郷旅費共

十一年七月ヨリ十二年六月迄一周年ノ費額書面ノ通相

定ムル條右ニ超過セサル様致スヘシ

十日ト本全文一周ノ歳ノ費額被定ノ後増減ノ略之

本○日各府縣十一年度警察費額決定ノ儀 十一年十月廿五

○府

○十一月十八日
 ○十一月十九日
 ○十一月二十日
 ○十一月二十一日
 ○十一月二十二日
 ○十一月二十三日
 ○十一月二十四日
 ○十一月二十五日
 ○十一月二十六日
 ○十一月二十七日
 ○十一月二十八日
 ○十一月二十九日
 ○十一月三十日

○十一年十月廿一日內務省稟裁

(稟)新潟縣ヨリ豫備金壹萬圓増額ノ儀申出テシ處該縣豫
備金ハ元來各縣ノ振合ニ比較セハ頗ル寡額ニ有之實際
差支ノ儀ハ無餘儀次第ニ付兵庫及ヒ長崎縣ノ例ニ據リ
本年度ヨリ壹萬圓増加合テ壹萬五千圓ツ、下渡月十
日十一
(裁)伺ノ趣聽許ス

○十一年十二月十日甲第廿五號陸軍省達

徵兵検査場備付物品格護ノ儀最寄官設ノ建物無之人民

所有ノ倉庫へ收藏ノ分ニ限リ一ヶ所一ヶ年金壹圓五拾
錢ヨリ多カラサル藏敷料可相渡間徵兵入費ノ内ヨリ支
弁スヘシ

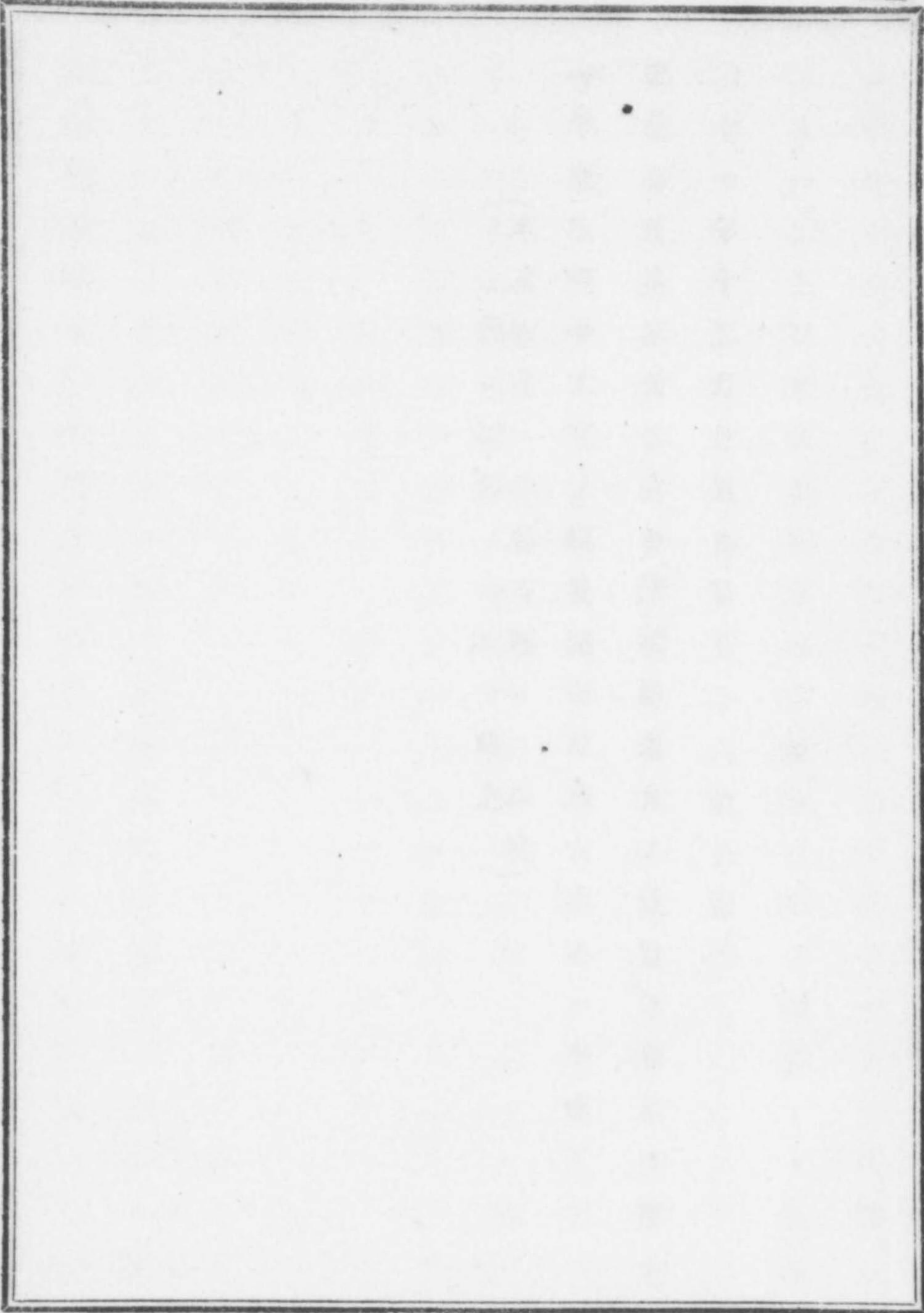
○十一年十二月廿日乙第六十六號本省達

當省昨十年二月乙第八號達經費申請概則第二項一行目秩
祿ノ下へ(賞勳年金軍人恩給)ノ八字ヲ挿入シ同項但書中
(ニ限リ從前ノ通り)ノ八字ヲ(賞勳年金軍人恩給ハ渡シ期
節ニ臨ミ別途請求スヘシ)ノ廿三字ニ改正ス但本年度三
季迄本文二科目ヲ加ヘ既ニ受取濟ノ分ハ終季ニテ差引
相立請求スヘシ

○府

〇十一年十二月廿五日第五十六號公達
紀元節天長節新年宴會酒饌料賜方ノ儀自今廢止ス但十
一年度定額中本文ノ經費減額取調大藏省へ申出へシ

(本文御達ニ付ノ各府縣ヨリ申牒
ノ上經費減額ノ件總テ略之)



出納例規類纂 明治十一年

○費目之部

○十一年一月十九日第二號征討費總理事務局達

九州地方賊徒征討費ヲ以テ購買セル物品ノ内不用ニ屬
シ賣却セシ分アラハ右金員ハ同費差繼拂ニ取計フ儀ト
相心得ヘシ

○十一年一月廿六日検査局ヨリ岩手縣へ回答

(往)裁判所ヨリ發スル人民呼出狀脚夫賃ノ儀云々官費支

○費

給ノ費項額内給與諸備給へ別ニ細目ヲ附シ支出可取計
 哉又ハ従前民費賦課費ノ内公狀遞送費ノ費目ヨリ支出
 ス可キ哉月廿六日
 (復)定額常費給與諸備給ヲ以テ支拂脚夫賃ノ細目ヲ設ケ
 然ルヘシ

○十一年一月本省達

豫算法附例 費目ノ部

○(第十號)警察官吏ノ警察事務ニ非スシテ守卒獄丁等ノ取
 扱フヘキ事務ニ代用スル諸費ハ事款ヲ區分シ旅費諸
 囚獄懲役費中ノ小科目ニ編入スヘシ

○囚人護送ノ巡查旅費支出ノ方十一年二月六日本省ヨ
 リ島根縣へ指令アリ
 ○門衛及ヒ金庫ノ夜警等ヲ巡查ニ命スル節ノ諸費支
 出方十一月三日兼務ヨリ福岡縣出張旅費支出方十一年
 ○警部ヨリ獄司ヲ兼務ヨリ福岡縣出張旅費支出方十一年
 七月廿六日檢査局ヨリ

○十一年三月一日檢査局ヨリ福島縣へ回答

(往)地租金引負ノ者裁判所ニ於テ處斷シ該追徴金ヲ縣ニ
 送ルトキ爲換料ハ何レヨリ支出スヘキ哉二月廿
 (復)爲換料ハ其縣定額常費應中費ニテ仕拂ハルヘシ

○費

○十一年三月十八日本省ヨリ埼玉縣へ指令
 (伺)本年一月豫算法附例第十一號ニ警察官吏ニシテ守卒
 獄丁等ノ事務ニ代用スル諸費云々ト有之處當廳門衛及
 ヒ金庫ノ夜警等巡查ニ命スルノ類モ右ニ準シ月俸ノ外
 辨當料需用費ノ如キハ定額常費ヨリ支給シ可然哉
 日 十二月十九日

(指令)伺ノ通

○十一年三月廿五日内務省ヨリ島根縣へ指令
 (伺)地誌關係ノ圖書採集ノ爲舊記等民間ニ存在スルモノ

調査費途ノ儀ハ編輯費ノ内ヨリ支出スルハ勿論ナレ
 其求ニ應シテ該區町村ヨリ差出セル圖書并調査ノ爲メ
 區戸長等喚起ノ費途ハ民費課出ノ儀ト心得可然哉
 (指令)地誌關涉圖書採集ニテ區戸長喚起ノ費途ハ一切編
 輯費ヲ以テ支給可致但採集ノ圖書々目届出次第地理局
 ヨリ差出方又ハ謄寫等相達セシ上該件ニ係ル費用ハ同
 局ヨリ別途仕拂フヘシ

○十一年三月廿九日檢査局ヨリ警視局へ回答
 (往)既未決兩監ノ事務一署ニ於テ取扱フ諸費實際ニ於テ
 明瞭區分難相立廉有之間以來既未決囚ノ賄并工作等ニ

係ル費目ノミ從前ノ通區分相立其他監獄費ト稱スル方
 可然云々 五月廿
 (復)御照會ノ如キハ定額常費中囚獄懲役兩費ヲ一緒ニ纏
 メ更ニ監獄費ノ科目ヲ設ケ而シテ額外常費ノ囚人懲役
 人兩諸費ハ從前ノ通夫々區分類聚ノ方然ルヘシ
 ○十一年五月卅一日第廿號公達
 諸官員并御雇外國人へ恩賜金等支出方ノ儀八年月十二第
 二百十八號ヲ以テ相達セシ處府縣官員へ賜ル金額ハ其
 奉職ノ府縣廳經費ノ内ヨリ支出シ舊官員ニシテ現時非
 役ノ者へ賜ル金額ハ太政官經費ノ内ヨリ支出スヘシ

○十一年六月廿五日本省ヨリ海軍省へ回答
 (往)旅費定則外國ノ部第四章中ニ公信郵便電信公事交際
 費等ハ現場仕拂ヒノ高ヲ以テ官費トナスヘシト有之該
 費額ハ外國旅行中ニ屬スル費途ナルヲ以テ額外常費ヨ
 リ支出スヘキ哉或ハ定額常費ヨリ支出可然哉 六月十
 (復)豫算書式經費概目ニ據リ定額常費各費項大科目中ヨ
 リ支出相成然ルヘシ

錄抄

〇十一年七月廿二日第十九號布告
從前府縣稅及民費ノ名ヲ以テ徵收セル府縣費區費ヲ改
メ更ニ地方稅トシ規則左ノ通定メラル

〇第三條 地方稅ヲ以テ支辨スヘキ費目左ノ如シ
○警察費 ○河港道路堤防橋梁建築修繕費 ○府縣會議諸
費 ○流行病豫防費 ○府縣立學校費及小學校補助費 ○
郡區廳舍建築修繕費 ○郡區吏員給料旅費及廳中諸費
○病院及教育所諸費 ○浦役場及難破船諸費 ○管内限
諸達書及揭示諸費 ○勸業費 ○戶長以下給料及戶長職
務取扱諸費 各町村限及區限ノ入費ハ其區内町村内
人民ノ協議ニ任セ地方稅ヲ以テ支辨スルノ限ニアラ
ス

〇地方稅費目
スヘキ旨
〇稻虫驅除費
〇郡區長書記勉勵賞與金等支出
日乙第七十號內務省給付地方稅目第七項郡
地役所諸費ノ内ヲ爲換支スルキ旨ノ一
區日乙第八十四號內務省達アリ雜則ノ一
三區日乙第八十四號內務省達アリ雜則ノ一

〇費

○十一年七月廿二日第卅號府縣へ公達
今般第十九號布告ノ通地方稅ヲ以テ支辨スヘキ費目相

定ムレト右費目中官費支出ニ係ルモノハ猶從前ノ通下
渡スヘシ

○十一年七月廿二日府縣へ公達
錄抄

今度第十七號第十八號第十九號ヲ以テ郡區町村編制府
縣會規則地方稅規則布告セシニ付テハ施行ノ順序左ノ
通相心得ヘシ

(十二)地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事件ト町村又ハ區限ノ
叶議費ヲ以テ支辨スヘキ事件トノ區分ハ凡ソ地方一

般ノ利害ニ關スヘキモノハ地方稅支辨ノ部ニ屬シ其町村限區限又ハ數町村共同ノ利害ニ係ルモノハ其町村又ハ區内限叶議費ノ支辨ニ屬スヘシ

○十一年七月廿五日檢査局ヨリ山梨縣ヘ回答抄

(往)當縣下甲府市中ノ儀ハ飲用水ニ供スヘキ良井ニ乏敷キヨリ遠ク河水ヲ延キ以テ人民飲用ニ供ス縣應於テモ同様ニ付右ニ關スル諸費ノ課出金ハ區入費同様應中費

雜費ヨリ支出ス然ルニ今般右用水路ヨリ縣應邸内迄ノ支樋伏替修繕セシ處該支樋ハ全ク縣應限リノ用ニ設ケタルモノニ付官舎營繕費ヨリ支出シ可然哉尤從前ハ管内一般ノ人民ニ課スヘキモノニ付從前民費諸費ノ科目ヨリ仕拂可申哉六月廿四日

(復)營繕費ヨリ支出シ然ルヘシ

○十一年七月廿六日檢査局ヨリ福岡縣ヘ回答

(往)豫算法附例費目ノ部第十一號ニ警察官吏ノ警察事務

ニ非スシテ守卒獄丁ニ代用ノ節諸費云々掲載ノ處懲役
 囚獄兩場獄司ノ内警部ヨリ兼務ノ者獄司ノ事務ニテ各
 地出張ノ旅費モ右附例ニ準據シ兩費中ヨリ支出スヘキ
 手果シテ然ラハ屬官ト雖モ右ノ場合ニ至テハ同様ノ儀
 ト可相心得哉 四月廿
 (復)警部ヨリ兼務ノモノ各地出張旅費ノ儀ハ御申出ノ通
 ニテ可然屬官ノ儀ハ出張事務ノ次第柄詳細可被申出云
 ヲ
 ○屬官ト雖モ獄司專務ノ者ナレハ警部ヨリ兼務ノ者
 ヲニ準シト旅費支出相成可然旨十一月十日檢査局
 福岡縣ヘ回答アリ略之

○十一年七月卅一日檢査局ヨリ岐阜縣ヘ回答
 (往)廳中日覆○同硝子窓光線除ケ但以寒冷紗等ヲ○同スト
 一フ○同書類及物品置キ釣棚○縣廳門前硝子燈○湯呑
 所爐或ハ竈○傘棚及下駄棚○井戸側
 右新調及修繕ノ費途ハ廳中用度ノ費用ニ可屬哉又ハ營
 繕費ニ屬スヘキ哉 六月十
 (復)スト一フ買上代ハ廳中費尤家屋ニ取付タル分ハ營繕
 費○縣廳門前硝子燈等地盤へ建設スル分并井戸側ハ營
 繕費○廳中日覆外四廉ハ家屋ニ取付タルモノハ營繕費
 取片付等ヲナスヘキモノハ廳中費
 右ノ通相心得ラルヘシ

○費

○十一年八月三日検査局ヨリ廣島縣へ回答
 (往)遺失物取扱規則中凡遺失物及逸走畜類ノ官ニ係ルモ
 ノハ官ヨリ得者ニ其費用ト報勞金ヲ給スルコト私物ニ異
 ナルコトナシト有之然レハ其費用ハ廳中費運送費報勞金
 ハ額外常費給與中ヨリ仕拂可然哉若シ其物品タル連鎖
 獄衣等ノ如キハ其費用監獄費ヨリ可仕拂哉 六月十
 (復)官ニ係ルモノハ連鎖獄衣ノ如キモ渾テ其報勞金ハ定
 額常費給與中雜費ヨリ支出シ其費用等ハ同斷廳中費ニ
 屬スル儀ト相心得ラルヘシ

○十一年九月三日検査局ヨリ秋田縣へ回答
 (往)豫算法附例費目概表中官金取扱費ノ部管内外旅費ノ
 小科目無之處上納金又ハ受取金等巨額ニシテ官員ノミ
 ニテ差支ル節立會并員數改トシテ金銀鑑定ノ者出張セ
 シムルハ右旅費何費ヨリ支出シ可然哉 八月
 (復)官金取扱費ヨリ支出セララルヘシ

○十一年九月廿七日司法省ヨリ本省へ回答 錄抄
 (往)訴訟入費償却規則第一條ニ有之其償却ヲ爲スヘキ訴
 狀答書等認料ノ儀ハ代書人ヲシテ代書セシメタル分ニ
 限ルヘキ哉或ハ代書人ヲ用ヒス自書シタルモ一様ニ曲

者ヲシテ其認料ヲ償却セシムル譯ニ有之歟將人民ヨリ
官府ニ關涉シ又ハ官府ヨリ人民ニ掛ル訴訟モ入費償却
方異様ナカル可キ哉 九月廿一日

(復)御意見ノ通異様ナカルヘシ
○代書人ヲ用ヒス自書シタル認料モ償却方異様アリナキ
之旨 十一年十月十七日司法省ヨリ本省へ回答アリ略

○十一年十月十五日內務省稟裁

(稟)稻虫驅除ノ儀云々各府縣下被害ノ景况ニ因リ一村一
區ノ人民負擔シ得サル驅除費ハ其幾分カヲ下渡ノ儀申
出ノ向モ有之然ルニ甲ノ驅除費ハ下渡シ乙ハ不下渡等

豫定シ難キニ付云々實際人民ノ負擔シ得サル分ニ限り
補助トシテ官費支出致シ度云々 八月廿八日
(裁)府縣稅ノ内ヲ以支辨スヘシ

○十一年十月十七日陸軍省へ令達

其省砲兵廠經費ノ儀本年度以降別紙昨十年七月中內務
省始メ四省へ相達セシ作業費規程ニ準シ處辨スヘシ但
興業費營業費及ヒ通常經費區分等早々取調大藏省へ協

議スヘシ(別紙)同年七月六日ノ令達
○砲兵廠ノ儀ハ從前製作ノ部ニ掲出ス
○生徒ノ教育儀其ハ前事務管業ノ事ニ限ラズ諸
正一ノ上ニ無儀之テ該廠業務規程ノ如ク陸軍本省定額付改工

〇費

中ニ組入兵器及ヒ彈藥買上費ノ科目ヲ設ケ豫算簿
リヘ記入スル等ノ儀十一年十二月廿七日日本省上申簿
略之

○十一年十一月八日日本省ヨリ廣島縣ヘ指令

(伺)各月米麥大豆其他物品相場書差出方本年三月御省乙
第十二號御達(略)ノ處右ニ要スル諸紙代價等支出方ハ如
何相心得可然哉八月廿
(指令)定額常費廳中費ヲ以テ仕拂フ儀ト心得ヘシ

○十一年十一月廿六日檢査局ヨリ廣島縣ヘ回答

(往)懲役人處刑滿期後無籍ナルヲ以テ懲治檻ニ在リシ節
他ノ府縣ヨリ右無籍者犯罪ノ見込アルニ付寫真遞送ノ
儀依頼アリシ處右寫真ハ全ク探偵ノ用ニ供スルモノニ
付其費用ハ該府縣ヨリ償戻ヲ受ケ可然哉又ハ監獄費中
需用費ヨリ支拂別ニ償戻ヲ要セサル哉十月廿
(復)他廳ノ依頼ニヨリ全ク探偵ノ用ニ供スルモノト雖モ
御縣經費中ヲ以テ支辨ノ儀ト心得ラルヘシ

○十一年十一月卅日日本省ヨリ廣島縣ヘ達

其縣鍊山經費ノ儀來十二年度已降別冊内務外三省へ達セラレタル作業費出納條例ニ準據處分スヘシ但實施ニ臨ミ取纏方差問ノ件アラハ委詳取調ノ上主任官出京スヘシ(別冊ハ十年七月六日ノ部ニ掲出ス)

○十一年十二月四日本省ヨリ陸軍省へ回答

(往)額外營繕費豫算ノ節一ト廉限リ千圓以上ノ目途ヲ以額外費へ組入置シ處現場落成ノ期ニ至リ千圓未滿ニ減少スル共最初豫算ノ金額ニ因リ額外費へ編入シ可然哉
十一月十八日

(復)豫算高實際決算ニ至リ千圓未滿ニ減少スル共最初額外費へ編入有之上ハ其儘存置シ右減少相成リシ事由明細簿へ備考ニ掲載セララルヘシ

○十一年十二月六日工部省稟裁

(稟)當省所管各局ニ於テ從來諸物貨回漕ノ節風浪ノ危難ニ遭逢シ或ハ火災賊害等ニ際會シ若干ノ損失ニ係ルモノハ其金額ノ多寡ニ不拘上稟ノ末處分シ來リシ處客歲以降作業費出納條例實際履行セシニ付テハ各局共既ニ幾許ノ資本ヲ以テ其事業ヲ經營シ收入ノ金額ハ一周年間幾回モ運換支用スル等ノ振合全ク一事業ヲ其主局へ

請負ハシムル姿ニ有之然レハ前顯ノ如キ損失ト雖モ素
 ヨリ右請負ノ範圍中ヲ免カレサルニ付營業上ノ失却ト
 見做シ其都度上申ヲ經サル方却テ作業費御發行ノ本旨
 ニ可相適就テハ爾後作業費ニ關スル右等ノ損失ハ當省
 限リ適宜處分致シ度云々 七月一日

(裁)伺ノ通

○費

出納例規類纂 明治十一年

○簿記之部

○十一年一月十七日第一號公達

十一年一月以降勘定帳書式改正ニ付八年八月第四百十九號及第五百十號達出納勘定帳書式ノ内乙號通算表明細表共全月以降差出ニ及ハス右原簿ハ整頓ノ上各廳ニ備ヘ置クヘシ但勘定帳書式ノ儀ハ大藏省ヨリ相達スヘシ
○六年三月第八十號ヲ以テ常額金渡方及ヒ勘定帳差出期限相達セシ處若シ事故アリテ勘定帳定期ノ通送致シ難キキハ五十日以内ノ延期可差許ニ付其時々大藏省へ申

○簿

出

○經費及ヒ稅外收入勘定帳書式並編成方等ノ儀十一
 年二月十四日日本省ヨリ官院省へ通達
 ○全上十一年二月十八日日本省ヨリ開拓使へ通達
 ○全上十一年二月十八日乙第五號本省達
 ○通算表明細表共各廳へ可備置等ノ儀十一年三月十
 五日本省ヨリ官院省使局へ通達
 ○全上十一年三月十八日乙第十四號本省達
 ○十一年二月十四日日本省ヨリ官院省へ通達(全廿五日地
 文_二達_一アリ略之全)
 本年一月第一號公達ニ據リ經費勘定帳及稅外收入勘定帳

共別冊ノ通更正スル條總テ右ニ照準調整之アルヘシ但
 收入勘定帳ノ儀ハ一ケ年度ヲ四分シ每三ヶ月分一括ニ
 編製セラルヘシ○本文更正ニ付尙要用ノ條件別紙ノ通
 相心得ラルヘシ
 別紙
 ○八年第四百四十九號公達中丁戌號書式ハ從前ノ通ナレ
 氏丙號ノ儀ハ朱書並元請差引殘高中本支廳ノ區別ヲ省
 キ交換仕拂及ヒ交換返納等ハ次條ノ通リタルヘシ○洋
 銀其他外國貨幣並米穀等買入仕拂フ氏都テ買入タル元
 價ヲ以テ仕拂ヲ掲出ス差引殘高モ同様ナリ尤年末或ハ
 殘高アリテ返納ノ節賣拂ヒタルキ多少元價ト差違ヲ生
 スルアラハ減ハ價格差減トシテ拂ニ立テ増ハ價格差増

トシテ税外收入勘定帳ニ編入決算ヲ爲スコトス○他應
 へ引讓金等有之節ハ勘定帳摸本ノ通差引殘高ノ内書ニ
 記載シ右金員ハ引受タル應ヨリ請取證來ル式ハ從前用ヒ
 二號証ニ照準差出サセ勘定帳ト共ニ送致スヘシ○大科
 スルコトス
 目營繕費ノ儀ハ其内書ニ新營ト修繕トノ二小科目ヲ分
 載シ小科目恩賞ノ儀ハ滿年賜金事務勉勵賞與追賞吊祭
 料職工傷痍手當ノ四小科目ニ分チ掲記スヘシ○經費中
 一旦本拂ノ内ヨリ戻入金ヲ以テ仕拂タル分ハ別紙摸本
 ノ通報書ヲ製シ勘定帳へ添付スルコトス○決算證書
 ノ儀ハ本年第二號公達ノ適當省官員派出ノ上勘定帳内
 譯原簿ノ檢査ヲ經ルニ非レハ確定シ難キニ付爾後歲計
 結局ノ時ニ於テ交付スルコトス因テ每一月ノ勘定帳ニ

對シテハ檢査局長ヨリ別紙雛形ノ如キ甲乙號ノ証書ヲ
 假リニ相渡スヘクニ付納入ノ天號證請取証人號証未納
 支出ノ一號證各廳ノ二號證殘高共從前ノ通交換シ追テ
 決算書交付ノ節悉皆返付スヘシ○十年度中ノ勘定帳ニ
 シテ調成未濟ノ分ハ十一年一月以降ノ分ト全ク前各
 條ニ據リ取扱フモ妨ケナシトス○九年度迄ノ未決算高
 ニシテ十一年一月以降ノ勘定帳附録ヲ以テ精算調成セ
 ル分ハ從前ノ通りタルヘシ

	也	右		
	年	者	金	金
		何		
	月	年		
		何		
	日	月		
大		諸		
藏		經		
卿		費		
宛		仕		
		拂		
		勘		
		定		
	長	仕	臨	額
	官	上		
	名	書		
	印	面		
		之		
		通		
		相		
		違		
		無		
		之		
		候		

歲尾決算濟ノ書式

一金

此譯

之	右				
候	者				
就	年	金	金	金	
テ	號				
ハ	何				
年	年				
號	六				
何	月				
年	諸				
七	經				
月	費				
ヨ	仕				
リ	拂				
全	勘				元
何	定	何	何	何	拂
年	仕	臨	額	定	差
六	上	年	外	額	引
月	書	何	月	月	殘
迄	面	時	何	何	大
ニ	之	何	常	常	藏
屬	通	日	日	日	省
ス	相	納	納	納	納
ル	違	費	費	費	
經	無				

○簿

